

第七十五回
帝國議會
貴族院

地方税法案特別委員會議事速記録第四號

昭和十五年三月二十二日(金曜日)午前十時十九分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、前同ニ引續キマシテ御質疑ノアル方ハ御質疑ヲ願ヒマス

○公爵一條實孝君 私ハ他ノ委員會ノ爲ニ、昨日モ御斷リ申上ゲマシタヤウニ、時々コナラニ伺フ結果、皆様ノ御質疑ガ濟シタナラバ、委員長ニ於テ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ一昨日デアリマシタカ、岡部子爵カラノ御質問デ、政府カラ材料ヲ戴クコトニナッテ居リマスガ、其ノ材料ハマダ手許ニ戴キマセヌケレドモ、今度ノ國稅ノ及ビ地方稅ヲ通ジテノ國民ノ負擔ガ一體凡ソドレ位概念シテ殖エルカ、斯ウ云フコトニ付テハ恐ラク當局デ以テ御推算アツテノ上ノコトト思フノデアリマスガ、假ニ或程度ノモノデ結構デゴザイマスカラ、凡ソ何割殖エルノダ、地方稅デアラウト國稅デアラウト、國民トシテ出ス側ノ方カラ言ヘバ、唯白イカ黒イカト云フダケノ問題デ、出ス勘定トシテハ大シタ問題デハナイ、是ガドノ位ニナルカト云フ概念ヲ參考書ヲ出ス前デモ仰シヤッテ戴ケルカト思フノデアリマスガ、若シ其ノ點ヲ概念ヲ伺フコトガ出來レバ仕合セト思フノデアリマス

○政府委員(樺間茂君) 一昨日、岡部子爵カラノ御話ニナリマシタ負擔關係ノ資料ハ、後刻御手許ニ御届ケ致シマスヤウニ今委員課ノ方ヘ御願ヒ致シテ居リマスカラ、程ナ

クコナラヘ廻ッテ來ルコトニナルダラウト思ヒマス、ソレカラ只今公爵ノ御尋ニナリマシタノヲ概數デ申上ゲマス、今同ノ稅制改正ニ依リマシテ、國稅ニ於キマシテハ八億四千三十一萬一千圓ノ増收ニナルコトニナッテ居リマスガ、地方稅ノ方ニ於キマシテ、稅制改正ノ結果、三億四千五百六十五萬圓ノ減收ト云フコトニナル譯デアリマス、國稅、地方稅ヲ通ジテ見マスと云フト、四億九千四百六十六萬圓ノ増徴ニ相成ル、斯ウ云フ見込デゴザイマス

○公爵一條實孝君 私ノ手許ニ、皆サンノ方ニモ參リマシタト思ヒマスガ、東京市ノ家屋稅率ガ非常ニ殖エルノダト云フヤウナ意味デ、昭和十七年度ノ國稅、府稅及ビ市稅ノ合計額ガ三千五百二十二萬圓ニナル、昭和十五年度ノ府稅及ビ市稅ノ合計額ガ、二千三百一十一萬圓ニ比較シテ一躍一千二百一十一萬圓ノ増額ニナルト云フコトハ非常ノコトダト云フコトヲ京橋區會議長ノ小坂梅吉君ノ名前ヲ以テ來テ居ルノデアリマスガ、之ヲ私見マシタ場合ニ直感致シマシタノハ、今仰シヤルト地方稅ハ減ルト仰シヤイマシタガ、結局家屋ノ所有者ト云フヤウナ者ニナリマスルト、約五割モ此ノ改正ニ依ッテ東京市デハ殖エルノダ、一方ニ於テ家實ト云フモノハ抑ヘ付ケラレテ居ル、斯ウ云フコトニ若シ相成リマスと云フト、其ノ間ニ於テ家デモ持ッテ居ルヤウナ所謂中堅分子、斯ウ云フ者ノ思想ニ非常ナ惡影響ヲ及スコトガアリハシナイカ、斯ウ云フ點ヲ私

ハ非常ニ恐レルノデアリマス、税金ハ益、取ル、當然増シテ宜イ收入ハ、是ハ政府ガ抑ヘ付ケテヤラセナイ、ヤレバ直グ違反行爲ダト言ッテ警察ニ引張ルト云フヤウナコトモ人心ヲ惡化セシムルコトガ非常ニ大キイモノデハナイカ、是ハ私他ノ場合ニ於テモ色々言ヘマセウガ、特ニ金錢上ノ問題ニ付テハ、大イニ内務行政當局トシテハ深甚ノ御考慮ヲ御拂ヒニナラナケレバイケナイノデハナイカト斯ウ思フ點カラ言フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テノ明瞭ナル御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(樺間茂君) 誠ニ御尤モナ御尋デゴザイマシテ、今回ノ中央地方ヲ通ズル稅制改正ヲ致シマス上ニ付キマシテ、無論國稅トシテハ相當ノ増徴ヲ致サナケレバナラヌ必要上ノ改正デゴザイマスガ、一面地方稅ノ關係ニ於キマシテハ、平年度ニ於ケル收入總額トシテ十億三千二百萬圓ト云フモノヲ抑ヘマシテ、ソレニ基イテ此ノ稅制ヲ立テマシテ、主トシテ負擔ノ均衡ト地方財源ノ確立ト云フコトヲ主眼トシテ立テタノデアリマス、デ御述ニナリマシタ收益稅ノ關係ニ付キマシテモ之ヲ全國的ニ考ヘテ見マス、地方稅收入ノ關係ニ於キマシテハ土地所有者ノ地租ヲ見マスと云フト、全國ニ平均致シマスと現行制度ニ依リマスレバ賃賃價格ノ百分ノ十三・一一ノ課稅ノ率ニナッテ居リマスガ、今回ノ改正ニ依リマスと百分ノ八ト云フコトヲ標準率ト致シテ居リマスノデ、ソレニ依ッテ十億三千二百萬圓ノ

確保ヲ致スト云フヤウナ建前ニナッテ居リマシテ、土地ニ對スル負擔ハ餘程輕減ヲ致シテ居リマス、ソレカラ家屋ニ付キマシテハ現在ノ地方稅ニ於キマシテ、全國平均デ見マスと賃賃價格百分ノ八・三三ト云フ課稅ノ率ニナッテ居リマスガ、今回ノ改正ニ依リマシテ百分ノ七ト云フコトニナッテ居リマシテ、之ヲ全國的ニ見マスと課稅率モ低ク負擔ヲ緩和スルヤウナ建前ニナッテ居ル譯デアリマス、ソレカラ只今具體的ニ御述ニナリマシタ東京市内ニ於ケル家屋稅ノ關係デゴザイマスガ、是ハ先日モ御答申シマシタガ、改正前ノ稅制ニ依リマスと昭和十三年度ノ調定濟額ガ仰セノ通り二千三百萬圓ニナッテ居リマス、之ヲ自然増收分ヲ見マスと云フト昭和十五年度ニ於キマシテハ大體二千四百三十一萬圓程度ニ相成ルカト思ヒマス、自然増收ヲ入レマスカラ……之ヲ改正後ノ稅率デ徵收致シマスと二千五百四十萬圓程度ニナリマスノデ、少シ増徴ニナルト考ヘマスガ、之ニハ實ハ賃賃價格ヲ補正ヲ致シマス關係モアリマスノデ、其ノ結果ヲ見マセストハキリシタコトハ申上ゲ兼ネマスガ、賃賃價格ヲ現在政府ガ調ベテ居リマス儘ヲ用ヒマシテモ、只今申シマシタ程度ニ相成ルト思ヒマス、尙九・一八ノ關係等ニ付キマシテハ將來十分關係當局ト協議ヲ致シマシテ考慮ヲ致シタイト思ッテ居リマス

○男爵松平外與磨君 只今ノ御質問ニ關聯シテチヨット御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、

今ノ家屋稅ノ賃賃價格ノ問題デアリマスガ、從來是ハ地方稅ト致シマシテハ法人建物稅ト云フモノガアリマシタガ、之ガ變更サレテ此ノ家屋稅ニナツタモノト記憶シテ居リマスガ、或ハ間違ッテ居ルカモ知レマセヌ

地ガナイ、營業稅方面ニ付テハ斟酌スル方針デアアル、斯ウ解釋シテ宜シノデスカ

○政府委員(扶間茂君) 仰セノ通りデアリマス

ガ、今度、今御話ノ通り各關係方面ニ於キマシテ賃賃價格ノ補正ヲナシマス場合、同ジ建物モ大分資本ノ投下ト云フ點カラ考ヘルト違フモノガアリハシナイカ、例ヘバ其ノ「ビルディング」ト云フモノ、或ハ倉庫

○男爵松平外與磨君 衆議院ノ此ノ地方稅ノ時ノ修正ノ市町村民稅ニ付テハ御議論ガアリマシタガ、分與稅法ノ第二條ノ第二項ノ所得稅及法人稅ノ徵收額ノ百分ノ十六・五五

業者ノ倉庫ト云フモノニ於キマシテ、假ニ同ジ五十萬圓ノ費用ガ掛ツタモノト見マシテ、其ノ使用目的カラ言ヘバ、違フガ、ソレモ同率ノ單價極メラレト云フコトハ、ソコ

ト云フノ百分ノ十七・三八ニ修正サレテ居ルノガアリマスガ、之ニ付テ是迄何ノ御質問モナカッタノデ參考ノ爲ニ伺ッテ見タイト

ニ何等カノ不均衡ト云フ聲ガ起リハシナイカト思ヒマス、恐ラク倉庫建物ノ相當立派ナ家屋ト云フモノガ澤山アルノデアリマス

○政府委員(扶間茂君) 地方稅ト致シマシテハ必要ナ收入ヲ確保スルト云フコトダケヲ考ヘテ居リマスノデ、衆議院ニ於テ所得稅、法人稅關係ニ於テ修正ノ結果減稅ニナ

カヲ、可ナリ議論モ起リ陳情モ起ル問題デナイカト思ヒマスガ、是等ハ何レ家屋稅ノ賃賃價格ノ調査委員會、是デ御極メニナルコトデアリマスガ、是等ニ付キマシテ若シ

リマス、減稅ニナリマス、ソレニ伴ヒマシテ同ジ額ヲ此處デ確保シマス爲ニハ、率ヲ上ゲナケレバナリマセヌノデ、其ノ計算ノ結果ガ十六・五五カラ十七・三八ニナリマ

ウシタラ宜イカト云フ御意見ガアリマスレバ、此ノ際伺ッテ置キタイト思ヒマス

シタノデ、唯機械的ノ數字ノ異動デアリマス

○政府委員(扶間茂君) 家屋ノ賃賃價格ノ決定ニ付キマシテ、倉庫業者或ハ「ビルデ

○男爵松平外與磨君 地方ノ自治體ノ色々ナ事業ヲ行ヒマス、又將來行フ場合ニ於キ

グ」ノ賃賃價格等ニ付テ陳情等ガアル譯デゴザイマスガ、是ハ家屋ノ賃賃價格其ノモノ

マシテ、此ノ頃ハ國ノ事業ニ對シマシテ受

トシテハ考慮スルノハ如何カト存ジマスガ營業稅ノ方面ニ於キマシテハ、之ヲ考慮ス

若シクハ市町村ニ負擔金ヲサレテ居ルヤウナ例ガアリマス、例ヘバ河川ノ改修ニ致シ

ルコトニ致シテ居リマスノデ、其ノ方デ權衡ガ取レルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマ

マシテ、國費ガ出シマスレバ其ノ一部ハ必ズ地方費ガ負擔シナケレバナラスコトニナツ

ス

テ居ル、處ガ今度新制度ニナリマス、其

ノ負擔金ト政府事業ニ對スル所ノ負擔金ト、其ノ財源ノ關係ハドウ云フヤウニ考ヘテ宜シイノデスカ、地方獨自ノ財源トシテドウ

アリマスガ、災害、傳染病豫防等ノ事業ニ付テハ百分ノ百ガ當然取ル額デアッデ、サウ

考ヘタラ宜イノデスカ

云フ特別ノ場合ニハ百分ノ百二十ヲ超エザル時ニ許可ヲ受ケナイデ取レル、スルト其

○政府委員(扶間茂君) 是ハ從來ノ稅制ト其ノ點ニ付テハ別段變リハアリマセヌノデ、

ノ外ノ場合ニ於テ、ドノ位ノ制限迄許サレ

○男爵松平外與磨君 從來單行法令デアリ

マシテハ所謂地方稅ノ此ノ附加稅ニ對スル

考ヘテ居リマス

最高制限ト云フモノハ設ケテ居リマセヌノ

○政府委員(扶間茂君) 御承知ノ通り地方

デ、此ノ百分ノ百ト申シマスルノモ一應標

稅制限ニ關スル法律ハ地租、ソレカラ今度

準率デゴザイマス、其ノ上ハ監督官廳ノ許

ハナクナリマスガ、所得稅、營業收益稅ノ

可ヲ受ケテ形ノ上デハ幾ラデモ取レルト云

附加稅ニ關スル制限デアリマス、是ハ今度

フコトニナツテ居リマスガ、是ハ結局地方團

改正ニ依リマシテ全然廢止ニナリマス、ト

體ノ施設ノ良否好惡ノ問題、ソレカラ負擔

申シマスノハ地租、家屋稅、營業稅ニ付キ

カト云フコトモ考慮シテ監督官廳ニ於テ許

マシテノ賦課率ノ標準額ト云フモノハ、今

トニ致シタイト思ヒマスノデ、最高ニ付テ

度ノ稅制ニ於キマシテハ、此ノ地方稅法ノ

ノ從來ノ如キ制限率ト云フモノハ設ケナイ

ト思ヒマス

○下出民義者 此ノ地方ノ制度ノ改正ニ付
キマシテ愛知縣ナリ、或ハ兵庫縣ノ如ク是
迄三部制ノ殘テ居リマスノハ、當然ニ廢サ
レマスガ、ソレニ付テハ、衆議院ノ質問應
答ノ中ニモ色々御考ニナツテ居リマスコトヲ
拜見致シマシタガ、ソレガ實施ニナツタ後ニ郡
部ト市部トノ間ニ宜イ工合ニ纏レバ宜シイケ
レドモ、其ノ間ノ負擔ト云フモノハ兵庫縣ニ
於キマシテモ、愛知縣ニ於キマシテモ、相
當負擔ノ額ガ違テ居リマス、市部ノ方ハ少
クテ、郡部ノ方ハ随分多イ、ソレガ今度一
緒ニナルニ付テハ兩方カラ同數ノ委員ヲ拵
ヘテソレヲ協定サスト云フヤウナコトガ、
茲ニ書イテアリマスケレドモ、此ノ法律ガ
決定シテシマフト、後ニ於テハサウ云フ風
ニ宜イ工合ニ話ガ纏ルカドウカト云フコト
ヲ私共ハ懸念スル、此ノ邊ニ付テ何カ御確
信ガアルモノデアリマセウカ、ソレカラ又
此ノ制度ヲ御採リニナルニ付テハ其ノ地方
即チ愛知縣ナリ、兵庫縣ナリノ當局者ノ意
見モ御聽取ニナツタデアリマセウカ、其ノ
御模樣ガ伺フコトガ出來レバ承リタイト思
フデアリマス

○政府委員(狹間茂君) 兵庫縣及愛知縣ニ
府縣ノ特別ノ制度トシテ三部制ガ現在モア
ル譯デアリマスガ、今度ノ稅制改正ニ伴ヒ
マシテ、之ヲ廢止セザルヲ得ナイ點ニ付キ
マシテハ、先日來此ノ委員會デモ御答ヘ申
上ゲタ通りデアリマス、唯併シナガラ其ノ
廢止ノ際ニ於キマシテ、此ノ市部ト郡部ト
ノ間ニ於ケル負債ノ權衡ヲ得テ居リマ
セスコトヲ單一經濟ニナル場合ニハ適當ニ
是正致サナレバナリマセヌデ、之ヲ如何
様ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、當

局トシマシテモ、十分研究ヲ致シテ居リマ
ス、衆議院ノ委員會ニ於キマシテモ、其ノ
詳細ニ付テ申上ゲ、此ノ委員會ニ於キマシ
テモ、堀切委員カラノ御尋ニ付テ私カラ大
體當局トシテ考ヘテ居リマス各種ノ法ニ
付キマシテ、申上ゲタヤウナ次第デアリマ
ス、是ハ隨分ムツカシイ問題デアルト考ヘ
テ居リマスガ、唯事態ト致シマシテハ、
既ニ此ノ法律ガ四月一日即チ十五年度ヨリ
施行セラレマス關係上、稅制ノ改正ニ伴ッ
是非トモ三部制其ノモノハ廢止セザルヲ得
ナイト考ヘマスノデ、已ムヲ得ズ是ハ十五
年四月一日ヨリ三部制ヲハッキリト廢止ヲ
致シマシテ、サウシテ其ノ善後ノ措置ニ付
キマシテ、知事ヲ中心トシテ地元ノ關係方
面ガ十分此ノ協議ヲ致シマシテ、適當ナ成
案ヲ得ルヤウニ運ンデ参リタイト思フノデ
アリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、關係知
事及内務省ト致シマシテモ、出來得ル限リ
ノ努力ヲ致シマシテ、圓滿ナ解決點ヲ求メ
ナケレバナラヌト思ッテ居ルデアリマス、
近クモウ關係知事ニ於キマシテ、其ノ對案
ヲ關係市部、郡部側ニ話シマシテ、其ノ協
議ニ移ッテ居ルコトト存ジテ居リマス、此ノ
方法トシマシテハ、市部、郡部ノ側カラ委員
ヲ選ビマシテ、知事トノ間ニ案ヲ練ルコト
ニ相成ルト思ヒマス、萬一ドウシテモ其ノ
妥協ニ達セズシテ縣會ニ於テ知事ガ適當
認メル案ヲ否決スルト云フヤウナ場合ガ萬
一起ツタト致シマスナラバ之ニ對シテハ地
方制度ノ上ニ於ケル内務大臣ノ監督權ニ
依ッテ適當ナ手段ヲ執ル考ヲ持ッテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ此ノ問題ニ付テ關係方
面ト豫メ打合ヲシタカト云フ御尋ニ付キマ
シテハ、此ノ稅制改正案ガ稅政調査會ノ議

ニ附セラレ、審議ヲ進メテ居リマス際ニ隨
分關係方面ノ方々ガ上京陳情セラレマス際
ニ此ノ問題ハ稅制改正ノ結果是非トモ廢止
セザルヲ得ナイノデアルカラ、速カニソレ
ニ對應スル解決案ヲ考究シテ戴キタイト云
フコトヲ再三御話ハ致シマシタケレドモ、
何分地元ニ於キマシテハ此ノ廢止ニ反對ノ
氣勢ガ強カッタモノデスカラ、具體的ニ之ヲ
解決スベキ妥協案ト申シマスカ、對案ノ作
成ニ迄御互ニ進ム譯ニ参リマセヌノデ、常
ニ撤廢反對、ソレハイケナイト云フヤウナ
コトデ在リ日ヲ過シタヤウナコトニナツ
テ居リマシテ、其ノ點甚ダ遺憾ニ存ジテ居リ
マスケレドモ、併シナガラ此ノ法案施行ニ
付キマシテハ今申上ゲマシタヤウナ方法ニ
依リマシテ是非共適當ナ解決案ヲ具シテ縣
會ノ議決ヲ經ルヤウニ當局ト致シマシテモ
最善ノ努力ヲ進メテ参リタイト考ヘテ居リ
マス

○下出民義者 色々御話ハ承リマシタガ、
之ニ付テ廢止後ノ妥協案ニ付テハ今日話ノ
ヤウデアリマシタガ、ドウモ少シ穿ッタクヤ
ウナ話デアリマスケレドモ、縣會ノ方ノ議員
ニ致シマシテモ市部ト郡部トハ餘程違ッ
テ居リマス、市部ノ方ハ少クテ郡部ノ方ハ多
イ、ソレデ同數ノ委員ヲ設ケテソレニ方法
ヲ協議サスト云フコトモ承リマシタガ、ド
ウモ私共ガ懸念スルノハ其ノ點デアリマシ
テ、ソレガ都合好ク纏ルカドウカト云フコ
トヲ心配致シマスケレドモ、其ノ纏ラナン
ダ場合ニ執行權ヲ御用ヒニナルト云フヤウ
ナ御話モアリマシタ、其ノ點ヲ非常ニ懸念
致シマス、爲ニ今御尋ニ致シマスノデ何カ
ソコニ兩縣ノ方ニ於キマシテモ安心ノ出來
ルヤウナ方法ノハッキリシタモノガナイ

ノデアリマセウカ、今御考ダケハ誠ニ
私共ヨリ分リマスガ、其ノ通り行ケバ、宜
シイケレドモ、若シ是ガ宜イ工合ニ纏ラナ
ンダ場合ニ唯之ヲ執行權デオヤリニナルト
云フヤウナコトデハドウカ知ラスト私ハ思
フノデスガ、一番心配スルノハ兩縣ハ同ジ
ヤウナコトデアリマスガ、市部ノ負債ト郡
部トハ隨分違ヒマスモノデスカラ、其ノ
點ハ話ガウマク纏ルカドウカト云フコトヲ
私共ハ懸念スルノデアリマス

○政府委員(狹間茂君) 此ノ點ハ重ネテノ
御尋デゴザイマスガ、是非共適當ナ成案ヲ
得マシテ縣會ノ圓滿ナ議決ヲ纏ルヤウニ關
係當局ト十分連絡ヲ取リマシテ、サウ云フ
風ニ運ンデ行クヤウニ致タシイ、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマス

○白根竹介君 チョット關聯シテ伺ヒタイ、
此ノ三部制ハ今度ノ制度ガ布カレト直グ
廢止サレルトシマスト云フト、今ノ縣會議
員ハ今度ノ制度ノ縣會議員ニナルノデスカ、
ソコヲチョット伺ヒタイ

○政府委員(狹間茂君) 縣會議員ニハ全然
變更ハゴザイマセス、唯參事會員ガ三部制
ノアリマス縣デハ十二人ニナツテ居リマス、其
ノ内二人ガ過剩ニナリマスノデ、ソレハモ
ウ府縣制ノ附則デ善後措置ヲ講ズルヤウニ
致シマシテ、二人ヲ抽籤デ減員、スルヤウ
ニ致シテ居リマス、其ノ他ノ議員、參事會員
ノ地位ニ付テハ全然變更ハゴザイマセス

○白根竹介君 少シ立入ッタコトニナリマス
ガ、此ノ三部制廢止ノ善後措置ニ付テ市部
カラト郡部カラト各、半數宛ノ委員ガ出來テ、
其處デ案ヲ纏メテ成案ガ出來マス、其ノ成
案ヲ縣會ニ掛ケマスト云フト、只今ノ愛知
縣ニシマシテモ、兵庫縣ニシマシテモ、郡

部議員ノ頭數ガ絶對多數デゴザイマスカラシテ、三部制廢止ニ關スル初メノ委員ハ半々デアルカラ、ドツチカト云フト市ノ方ニ有利ナ案ガ出來ハシナイカト思フノデゴザイマスガ、ソレハ公平ナ案デスガ、郡部ノ方カラ見レバ市ノ方ガ有利デアルト云フ案ガ出來ハシナイカト思フノデス、サウスルト其ノ案ヲ今度ハ縣會ニ掛ケマス、アベコベニ郡部議員ノ方ガ非常ニ多ウゴザイマスカラ、先ノ見透シトシテハ當然其處ニ波瀾ガ出來テ、其ノ案ガ通ラナイト云フヤウナコトガアリハシナイカト思ヒマスガ、是非常ニ思ヒ過ギタコトデアリマスケレドモ、其處デ非常ナ府縣内ニ波瀾ガ起キテ收拾スベカラザル事態ガ起キハシナイカト想像モ出來ルノデゴザイマスルガ、其ノ邊如何ナモノデセウカ

○政府委員(松村義一君) サウ云フ不幸ナ事態ヲ起シマセヌヤウニ十分練テ案ヲ作リマシテ、縣會ニ出マシタ際ニ其ノ爲ニ波瀾ガ起キ、縣政上思ハシクナイ結果ガ發生致シマセヌヤウニ、出來得ル限リ事前ニ於テ圓滿ナ工作ヲ施シマシテ、其ノ上デ縣會ヲ召集スルト云フ順序デ進マセルヤウニ致シタイト思ヒマス

○松村義一君 今ノ問題ハ、質問應答ヲ伺ッテ居ッテ關聯シテチヨット御尋ネスルノデスガ、内務當局トシテハ其ノ邊ハ圓滿ニ府縣會ヲ通過スルヤウナ工合ニ努力ヲスルト、斯ウ仰シヤルノハ御尤モダト思フノデアリマスガ、實際問題トシテハムツカシイ問題デヤナイカト私ハ思フ、是ハモウザックバラニ申上ゲテ、市部ト郡部トノ關係ガ互ニ利害ガ反シテ居ル、サウ云フ場合ニ於テ極メテ適當ナ案ト御考ニナルモノヲ假ニヤラレテ

モ、郡部議員ノ方デアッテハソレハイカスト云フヤウナコトニ考ヘ、殊ニマア縣會議員ノ諸君等ト云フト、自分ノ將來ノ選舉ノ立場ト云フヤウナコトモアルモノデゴザイマスカラ、ナカ／＼是ハ圓滿ニヤルト云フコトハ實際ニ於テハ非常ニ困難ナコトデハナイカト思フ、ソレデ實際順序ガ非常ニ是ハ今政府當局ノ言ハレルヤウニ誤ッテ居ルノデ、四月一日迄ニ制度ヲ廢止シテシマフ、其ノ先ニヤッテシマフ、ソレカラ廢止シテシマッタ後デ善後處置ヲ講ズルノデスカラ非常ニムツカシイト思フ、善後處置ヲ講ジテ置イテ、サウシテ三部制ヲ廢止スルナラバ非常ニ宜イノデスガ、アベコベニナルノデスカラ是ハ順序カラ云ッテモ極メテ變ナモノデアル、サウ云フ場合ニ於テ縣會ガ十分ナ決議ヲセスト云フ場合ニハ、或ハ監督上ノ問題トシテ原案執行ヲヤルト云フ位ノ御考デ非常ニ強イ御考デ御進ミニナルノデセウカ、唯圓滿ニヤルト云フト、ナカ／＼是ハ圓滿ニ行カヌ場合ガ多イダラウト思フ實際問題トシテ考ヘルト……要スルニ是ハ内務省ノ御決心ト云フコトガ非常ニ關係ヲ持ツノデスガ、モウ要スルニ原案執行ヲヤル、ソレ迄ノ御考ニナルノデスカ、其處ヲチヨット……

○政府委員(松村義一君) 極ク突キ進メテ考ヘテ見マス、相當ニハ負擔ノ關係ノ問題デスカラムツカシイト思ヒマス、確實ハ出來得レバ此ノ法案ガ議會ニ提案セラレマス前ニ於テ到達スベキ適當ナ解決案ト云フモノヲ作りタイト思ッテ居ッタノデゴザイマスガ、先程申シマシタヤウニ、ドウモ撤廢反

對ト云フコトデ終始來テ居リマシテ、對案ノ提示ヲスル時モナク、又出來ナカタ譯

デアリマス、已ムヲ得ズ制度ノ方ガ先ニ廢止スルト云フコトニナツタ譯デアリマス、併シ先日申上ゲマシタヤウナ色々ナ案ヲ出シマシテ、サウシテ兩方ノ關係者ト十分話合ヲ致シマシテ、何トカシテ縣會ノ議決ヲ得ルヤウニ進メタイト考ヘマシテ、出來得ルダケノ方法ヲ盡シタイト思ッテ居ルノデアリマス、併シ萬一左様ニシテモ市部、郡部ノ關係ニ於テ、知事並ニ内務當局ガソレヲ見マシテ適當ナ案ナリト認メルモノニ付テモ、縣會ノ議決ガドウシテモ得ラレナイト云フヤウナ場合ニハ、是ハドウモ制度ノ上ニ於テ廢止セラレタモノデアリマスカラ、政府ト致シマシテハ已ムヲ得ズ監督權ニ依リマシテ原案執行ノ途ヲ執ラザルヲ得ナイカトモ思フノデアリマス、是ハ最後ノ手段トモ申スベキモノデアリマシテ、是非トモサウ云フ事態ヲ發生セシメナイヤウニ、落著ク所ニ落著ケサセタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○白根竹介君 ドウモ相當ニハ波瀾ヲ豫想サレマスシ、ソレデ結果兩方ノ神經ガ尖ッテ、意外ノコトヲ妥協條件ニスルヤウナ恐レガアリハシナイカト思フデアリマスガ、現ニ衆議院ニ於ケル政府當局ノ答辯ナドニモ市内ニ於テ縣ガ新シク施設ヲスルトカ云フヤウナコトガアリマスガ、非常ニ過敏ニナッテドウシテモ納ラナイト云フコトニナルト、餘リサウ急ニヤラナイデ宜イコトデモ、市部ニ施設スルト云フヤウナコトガ飛ビ出シテ來ハシナイカト思ヒマスガ、其ノ邊ニ付テハ十分御注意御監督ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(松村義一君) 十分其ノ點ハ注意致シマス

○下出民義君 今政府委員ノ御説明ノ中ニ愛知縣ナリ兵庫縣ハ絶對反對ト云フヤウナ御言葉モアリマシタガ、實ハ絶對反對ト云フヨリ寧ろ實施ヲ延期シテ戴キタイ、猶豫シテ戴キタイト云フコトヲ頻リニ希望致シテ居ルト私ハ思フ、少シ其ノ邊ハ私共ノ聞イテ居ルノト違フヤウニ思ヒマスガ、如何ナモノデアリマセウ

○政府委員(松村義一君) 簡單ニ申上ゲマシタカラ、サウ御取リニナツタノモ已ムヲ得ナイカト存ジマスガ、經過ヲ申シマス、絶對反對ト云フノガ去年ノ夏カラ秋ニ掛ケテノ話デアリマシテ、私共極力ソレハ困ル、出來ナイコトデアルト云フコトヲ申上ゲマシテ、ソレカラ漸次ソレガ變リマシテ、已ム得ズンバ何年カノ猶豫ト云フヤウニ變ッテ來タヤウニ私記憶致シテ居リマス、ソレカラ猶豫ノ問題ニ付キマシテハ、是モ衆議院デ色々御話申上ゲマシタシ、此ノ委員會デモ申上ゲマシタガ、從來此ノ三部制ヲ廢止スルニ際シテ數年間ノ準備期間ヲ置イテアリマス、最近廣島ガ此ノ三部制ヲ廢止シマシタ際ニモ確カ三年間位ノ準備期間ヲ置イテ居ルノデアリマス、此ノ準備期間ヲ置キマシタ理由ハドコニアルカト云ヒマス、市部郡部ノ稅ノ課率ガ非常ニ懸隔ガアリマスノデ、其ノ課率ヲ近付ケルト云フ爲ニ、急激ニ近付ケルト云フコトハ負擔關係上面白クアリマセスカラ、數年間之ヲ餘裕ヲ置キマシテ課率ヲ近付ケタイノデアリマスガ、今日ハ此ノ地方稅改正ニ依リマシテ、課率ノ問題ハ一定致シマシタノデ、其ノ問題ハ自然消滅致シタ譯デアリマス、即チ三部制廢止ニ伴ッテ猶豫期間ヲ置クト云フ理由ハ今度ノ狀態ニ於キマシテ

ハ、其ノ必要ガナイト云フコトニナリマシ
タ譯デアリマス、殘ル問題ハ、如何ナル場合
ニ於テモ生ジマス市部ト郡部トノ財産ノ關
係デアリマス、即チ債務消却財産ノ問題デ
アリマシテ、此ノ問題ニ付キマシテハ、猶
豫ト云フ問題デハナイノデ、如何ナル形ニ
於テ適當ナ解決案ヲ作ルベキカト云フコト
デアリマスカラ、是ハ來年度ニ於テ直グニ
廢止シテ、サウシテ適當ナ案ヲ、負債ノ
「バランス」ニ付キマシテハ善後處置ヲ考ヘ
ルト云フコトデ進ンデ差支ナイト斯ウ思ッ
テ居リマスガ、從來ノ狀態ニ於ケル如キ準
備期間ト申シマスガ、猶豫期間ノ問題ハ、
今回ノ場合ニ於キマシテハ、全然其ノ必要
ガナクナッテ參ッテ居ル譯デアリマスノデ、
其ノ點、御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 今戴イタ是ガ昨日御願
ヒシテ置イタ比較調ナデスカ

○政府委員(狹間茂君) チョット差上ゲマ
シタ表ニ付テ御説明申上ゲタイト思ヒマス、
一昨日岡部子爵カラノ御話ニ依リマシテ、
國稅、地方稅ヲ通ジマシテ所得千圓ノ者ト
三千圓ノ者トヲ例示致シマシテ、此ノ負擔
關係ヲ出シテ居リマス、一ツノ點ニ付テ申
上ゲマス、所得千圓ノ者ニ付テ申シマス
レバ現在ノ制度ノ下ニ於キマシテ、國稅、
地方稅ヲ通ジテ田畑貸付所得ニ於テ百三十
四圓ヲ負擔致シテ居リマスガ、改正法ニ依
リマス、百九十四圓餘リニナリマス、配
當所得ニ於キマシテハ、從來ハ全然負擔ヲ
致シテ居リマセヌデス、今回ノ改正ニ依リ
マシテ申シマス、百圓ノ負擔ヲスル、勤
勞所得ニ於キマシテハ、從來ハ負擔ヲ致シ
テ居リマセヌガ、二十四圓ノ負擔ヲスルト
云フコトニナル譯デゴザイマスノデ、大體

此ノ點ヲ先日來、國稅、地方稅ヲ通ズルト
斯ウ云フ結果ニナルト云フコトヲ申上ゲテ
居ルノデアリマス、ソレカラ三千圓ノ所得
者ニ付テ申シマス、矢張り田畑貸付所得
ニ於キマシテ、現行法ニ依リマス五百十
八圓餘リニナッテ居リマスノガ、改正法ニ依
リマス五百八十二圓ニナリマス、配當所
得者ガ九十四圓ヲ納稅致シテ居リマス者ガ
三百圓ト云フコトニナリマス、ソレカラ勤
勞所得者ニ於キマシテハ、九十四圓ガ百四
十四圓、營業所得ハ三百三十圓ガ四百一圓
ト云フコトニナリマス、斯ウ云フコトニナ
リマスノデ、大體各種所得ノ間ニ於キマシ
テ改正法ガ從來ノ制度ヨリモ負擔ノ均衡ヲ
得ルヤウニ國稅、地方稅ヲ通ジテ考ヘマス
ト相成ッテ居ル譯デアリマス、尙備考ニ揭ゲ
テ置キマシテ通り戸數割等ハ此ノ調査カラ
除外セラレテ居リマス、此ノ點ヲモ考慮ノ
中ニ加ヘマス、更ニ從前ノ制度ヨリモ、
負擔ノ均衡ガヨリ良ク得ラレルヤウニナッ
テ居ルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデア
リマス

○子爵岡部長景君 チョット之ニ付テ……
モウ少シ所得ノ大キイモノハ、例ヘバ一萬
圓或ハ十萬圓ト云ツヤウナモノハ大體此
ノ率ガ殖エテ來ル譯デセウネ

○政府委員(狹間茂君) 是ハ大藏省ノ方デ
調査シテ居リマスノデ、ハッキリシタ數字ヲ
此ノ上ノ所得者ニ付テ責任ヲ以テ申上ゲル
數字ヲ持ッテ居リマセヌ

○子爵岡部長景君 極ク大體ノ所デ例ヘバ
一萬圓ナラバ何千圓ノ負擔ヨリハドノ位率
ガ累進的ニナッテ來ルカ、十萬圓ナラバドノ
位ノ率デ殖エル、總計ノ率ハドノ位ニナリ
マスガ、例ヘバ三千圓……一々ノ數字ノ計

算ノ基礎ハナクモ結構デス

○政府委員(狹間茂君) 私カラ申上ゲマシ
テモ如何ト存ジマスノデ、大藏省方面ノ政
府委員カラ詳細ノ説明ヲ申上ゲルヤウニ致
シタイト思ヒマス

○公爵一條實孝君 今岡部子爵ノ質問ニチ
ヨット關聯シテ私カラ申上ゲテ置キタイ、私
ハ岡部子爵ノ一昨日ノ御要求ニ依ッテ相當
ノモノガ拜見出來ルト思ッテ期待シテ居ッ
タデアリマスガ、是デハ丸デ私ノ期待ニ全
然副ハナイ、其ノ點ハ新タニ……一體國稅
ノコトハ比較的ヨク分ッテ居ル、處ガ我々ノ
稅ヲ受ケル方ノ人間カラ言フト、課稅ト云
フモノハ誠ニ分リニクイ、ソレデアルカラ
國稅ガ凡ソ今度ノ改正デ一萬圓ノ收入ノモ
ノ、二萬圓ノ收入ノモノハドノ位ノ差デア
リマスガ、ソレハ是位ノ負擔ガアル、ソレ
ニ對スル附加稅ガドレ位アルト云フヤウナ
コト迄モ實ハ私ハ國民トシテ戴キタイ、ソ
レダケ私カラ申添ヘテ置キマス

○委員長(子爵前田利定君) 今ノ岡部子爵
ノ御質疑ニ對シテ御答ヘ……

○政府委員(狹間茂君) 只今一條公爵カラ
ノ御話ニ付キマシテモ、併セテ後刻大藏當
局ノ方ト打合セラ致シマシテ御答ヘ申上ゲ
マス

○子爵岡部長景君 此ノ所得ノ額ノ方ノ調
ハ參考資料ノ中ニアリマスガ、アレバ何處
デ見レバ宜イカ、御指摘願ヒタイト思ヒマ
ス、大體千圓ノ所得ノモノハ……田畑貸付
得千圓ノモノハ大體ドノ位アル、ソレカラ
後トノモノハドノ位……

○政府委員(三好重夫君) 只今御尋ニナリ
マシタ問題デゴザイマスガ、所得ノ種類別
ノ調査ハナイカト存ジマス、唯從前三種

所得稅ノ課稅客體デアリマス所得ノ金額別
ノ人員調ハアルト思ヒマス、取寄セマシテ
御答ヘ致シタイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 ソレハ配當所得……第
三種所得ダケデスト、田畑貸付モ入ル譯デ
スネ

○政府委員(三好重夫君) 皆入リマス

○子爵岡部長景君 ドウゾ一ツ御願ヒ致シ
マス

○塩田園平君 只今配付ヲ戴キマシタガ、
田畑貸付ト云フモノハ地方稅ニ於テ、府縣
ニ於テ百二十、市町村ニ於テ二百四十デ御
計算ニナッタノデゴザイマセウネ、附加稅
ノ方ノ率ハドウ云フ風ニ御設ケニナッタノ
デアリマスガ

○政府委員(狹間茂君) 是ハ百ト二百デゴ
ザイマス、其ノ標準率デ調査ヲ致シマシタ
○塩田園平君 サウシマス、舊債償還トカ
傳染病ト云フコトノ賦課ニ依リマシタ時ニ
ハ、營業稅ト田畑所得ノ方ガ膨ランデ行ッ
テ、配當所得ハ膨ランデ行カナイコトニナ
ルノデスネ、負擔ガ……ソレガ將來益、不權
衡甚ダシクスルモノデヤナイカト云フコト
ヲ懸念スルノデゴザイマス、ソレカラ此ノ
方ニハ舊負擔額ノ配當所得、勤勞所得ニ計
上出來ナカッタデアリマセウケレドモ、町村
費ノ六割ガ戸數割ノ最高額ニナッテ居リマ
シテ、サウシテ其ノ六割ノ町村費ノ中ノ又
六割ガ所得標準デ分配サレテ居リマスカラ、
在來勤勞所得ニ付キマシテモ、配當所得ニ
付キマシテモ、町村費ノ負擔ハ相當高ク掛ッ
テ居ルノデアリマス、今御説明ノヤウニ新
稅法ノ率ハ舊イ方ノ會計ニ依ルト、或ハ幾
ラカ減ッテ居ル所ガアルカモ知レマセスケレ
ドモ、兎ニ角俄ニ斯ウ云フ大キナ負擔ヲス

ルコトデヤナイト云フダケハ事實デゴザイ
マスネ、私共昨日申上ゲマシタガ、地方ハ
此ノ方ノ形式ノ財産ハ、市町村ニ於テハ
サウ殖エテ居リマセヌケレドモ、株式形
式ノ資産ダケハ全然殖エテ来ルコトニナ
ルノデアリマスカラ、之ヲ矢張り一ツ地
方稅ノ對象トシテオ入レ願フヤウナコト
ヲシテ置カナイト、非常ニ大キナ財源、重
要ノ資産デアリナガラ、其ノ負擔ノ額ガ國
稅ノ方ノ動キガナイ限リハ、動カヌデ固
シテ居ルノデ、臨時ノ負擔ガ出来マシタ
時ニハ、田畑營業稅家屋ノ所得ダケガ其ノ災
害ノ負擔トスルト云フコトニナッテ行クヤウ
ナ感ジガ致シマシテ、其ノ點ヲ申上ゲタ
デアリマス、左様ナ事情デアリマスカラ、
何等カノ形式デ所得ノ種類ニ依テ、分類
所得ノ方ヘ附加稅ヲ掛ケルト云フヤウナ形
式デナクテモ、別ノ方法デモ宜イカラ、配
當所得額、勤勞所得ト云フモノニ地方ノ財
政事情ニ應ジテ、或程度積極性ノアルヤウ
ナ負擔ヲ掛ケルト云フコトヲ研究シテ戴キ
タイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、
此ノ點ヲ繰返シ希望ヲ申上ゲマス

○政府委員(狹間茂君) 先程申シマシタ通
リ、戸數割ハ入ッテ居リマセヌガ、此ノ配當
所得者等ニ付キマシテモ、戸數割ニ付テハ
他ノ所得ト同様ナ比率ニ於テ課稅ヲ受ケテ
居ル譯デアリマス、併シソレハ配當所得、
田畑貸付所得、何レニモ共通致シテ居ル問
題デアリマシテ、假ニ此ノ田畑ノ所有者等
ニ付キマシテ見マスト云フト、或ハ戸數割
ニ依ッテ、ヨリ以上ノ負擔ニナッテ居ルノデ
ヤナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、
此ノ表ヲ作成致シマスニ付キマシテハ、ド
ウモ之ヲ加ヘルコトガ困難デアリマスカラ、

大體ノ見透シトシテ、只今申上ゲマシタヤ
ウニナル、少クとも此ノ所得稅ノ關係ニ於
キマシテハ、國稅地方稅ニ通ジマスルト、
配當所得者、勤勞所得者ヘモ相當ノ負擔ヲ
轉嫁致スヤウニナッテ居リマスノデ、負擔均
衡ノ問題トシテハ大體此ノ表デ御覽ヲ願ッ
タヤウ結果ニナルト思ッテ居リマス、尙此ノ
三收益稅ノ附加稅ト、ソレカラ配當所得等
ニ對スル何ト申シマスガ、所得稅附加稅ナ
リ、或ハ獨立稅ナリノ形式ニ依リ、地方稅
ヲ考慮シタラドウカト云フ御尋ニ付キマシ
テハ、先日モ申上ゲマシタ通り色々研究致
シタノデゴザイマスガ、是ハ分類所得稅ノ
附加稅デハドウモ技術上出来ナイコトデゴ
ザイマスシ、又綜合所得稅ニ付テ考ヘマス
ト、是ハ結局五千圓以上ノ者ダケニナル譯
デゴザイマスノデ、尙綜合所得全體ニ付テ
課稅シマスレバ、結局ハ田畑所得ニモ營業
所得ニモ全部ガ二重課稅ヲ受ケルト云フコ
トニナリマスノデ、サウスルト配當利子等
ノ所得ダケヲ引出スト云フコトヲ致サナケ
レバナリマセヌガ、是ハ實際問題トシテ逆
モ困難デアッテ行ヒニクイト思フノデ、假ニ
之ヲ行フト致シマシタ場合ニ、ソレガ地方
稅トシテ適當デアルカドウカト云フコトヲ
考ヘマス、其ノ人ノ住所地掛ケルト云
フコトニナリマスレバ、非常ニ負擔ノ均衡
ガ地域的ニ保テナイコトニナルノハ、現在
ノ所得稅附加稅ニ付テ存在シテ居ルノデ十
分御了解戴ケルヤウナ狀態デアリマスノデ、
ソレガ地方稅トシテ殘リマスコトハ地方負
擔ノ均衡ノ上カラ申シマシテ、誠ニ思ハシ
クナイト云フ風ニ考ヘマス結果、是等ノ所
得稅ハ舉ゲテ地方分與稅ノ財源ト致シテ參
リマス、コトガ適當デアルト云フ風ニ存ジ

テ居ルノデアリマス、唯傳染病等ガ流行致シ
マシタ場合、或ハ災害ガアリマシタ場合ニ
此ノ三收益稅附加稅ガ増徴セラレルト云フ
點ニ付キマシテハ、御述ニナリマシタヤウ
ナ結果ガ生ズルト思ヒマスノデ、其ノ點誠
ニ私共何カ適當ナル方法ハナイカト考ヘテ
居リマスガ、實ハ其ノ點ニ付キマシテハド
ウモ妙案ガゴザイマセヌノデ、引續キマシ
テ考究ハ致シマスガ、ドウモ適當ナ案ガナ
イノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス
○松村義一君 此ノ大臣ノ御說明ノ中ニモ
アルノデアリマスガ、獨立稅及附加稅幾ラ
幾ラト云フヤウナ、本年度幾ラ、來年度幾
ラト云フ金額ガアリマス、其ノ外衆議院ニ
御出シニナリマシタ調査ノ中ニモ改正前ト
改正後ト稅ノ收入ノ見込額ハ澤山アリマス
ノデスガ、ソレ等總テニ付デアリマスガ、
此ノ附加稅ハ矢張り府縣百分ノ百、市町村
百分ノ二百ト云フコトヲ前提ニヤッテ居ラ
ル、ノデスカ
○政府委員(狹間茂君) 其ノ通りデゴザイ
マス
○松村義一君 實際ハドウデアリマセウ
カ、少クとも府縣ニ於テハ百分ノ二百二十、
ソレカラ市町村ニ於テハ百分ノ二百四十ト
云フコトガ各種ノ場合ニ於テ課稅セラ
コトニナッテ居リマスガ、サウシテ災害復舊
費傳染病豫防費ト云フヤウナ金ニ充テル爲
ニ借入レタ負債ノ元利償還ノ爲ニハ掛ケテ
宜イト云フコトニナッテ居リマスカラ、實際
ハ各府縣ニ於テモ各市町村ニ於テモ
附加稅ハ百分ノ二百二十カ百分ノ二百四十
課スルノデハナイカト思ヒマスガ、御見
込ハドウデスカ
○政府委員(狹間茂君) 是ハ全體的ノ財政

計畫ト致シマシテ十五年度ノ自然增收ヲモ
加ヘマシテ、十億三千二百萬圓ト云フノヲ
一應仰ヘマシテ、ソレデ此ノ財源ヲ割振リ
マス、此ノ御覽戴イテ居リマスヤウナ數
字ニナリマシテ、ソレハ百分ノ百、百分ノ
二百デ、斯ウ云フ收入ガアルト云フ風ニ考ヘ
テ居リマス、唯御述ニナリマシタヤウニ如
何ナル團體ニモ此ノ標準率超過ノ一定ノ限
度迄許可ヲ要シナイト云フヤウナ費目ガア
ル譯デアリマスカラ、其ノ方ノ關係デ百分
ノ二百二十ナリ二百四十ナリノ限度ニ於テハ
課稅スルヤウニナル團體モ生ズルカト思
ヒマスガ、是ハ各團體ニ付テドウモ考ヘマ
セヌト一般的ニハ申兼ネマスガ、御述ニナ
リマシタヤウナ傾向ハ出テ来ルノデヤナイ
カト存ジマス
○松村義一君 ソレカラ先程カラ色々御
質問ガ出タノデアリマスガ、今地方局長ノ御
話ノヤウニ、實際問題トシテハ府縣ニ於テ
ハ百分ノ二百二十、市町村ニ於テハ百分ノ二
百四十ト云フコトニハ自然ニナッテ来ルト
想像スルノデアリマス、尙足ラザル場合ニ
於テマシテハ許可ヲ得テ此ノ率ヲ殖ヤスト
云フコトニナルト思ヒマス、サウシテマア
大臣ノ御說明ニモアリマシタヤウニ、三收
益稅ノ附加稅ナルモノニ依ッテ財政ノ伸縮
ヲシヨウ、是ガマア從來ノ戸數割ニ代ルコ
トニナルガラウド思ヒマスガ、サウ致シマ
スト云フト、是ハ許可ヲ得テ段々殖エテ行
クト云フコトニ相成リハセヌカ、從來ニ於
キマシテモ制限外課稅ト云フモノハヤカマ
シク言ハレテ居ッタノデアリマスガ、各府縣
各市町村皆制限外課稅ヲヤッテ居ルコトハ原
則ニナッテ居ルト云フヤウ譯デアリマス同
ジヤウニ、將來ノ問題カラ申シマス云フ

ト許可ヲ得テ是カラ是等三收益税ノ附加税ヲ増加スルト云フコトガ非常ニ盛ニナッテ來ルンデハナイカト斯ウ云フ想像ヲ致スノデアリマス、サウシテ是ニハ制限ガナイノデアリマスカラ、幾ラデモ上ルト云フト云フヤウナ形ニナリマシテ、此ノ點ニ於テ非常ニ地方團體ノ住民ノ負擔力ハ非常ニ負擔ガ増加スルヤウナ結果ニ相成ルノデハナイカト斯ウ云フコトヲ心配スルノデアリマス、斯ウ云フコトニ對シマシテ内務當局ノ御考、御見込ハドウデゴザイマセウカ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 只今ノ御尋ハ私共モ最モ今度ノ改正ニ於テ注意ヲ致シテ居ル點デアリマシテ、非常ニ大切ナ點デアアルヤウニ存ジテ居リマシテ、御述ニナリマシタ御心配ノ點ニ付キマシテハ私共斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、今回ノ改正ヲ致シマス際ニ標準ト致シマシタ此ノ稅總額ハ、制限率ヲ以テ、現行制度ヲ以テ、制限率ヲ以テ課稅ヲ致シマス場合ラ標準トシテ作ッタ稅額デゴザイマセヌノデ、現在ノ制限外課稅ヲ致シテ居リマス各團體ノ制限外課稅ヲ致シテ居リマス、稅總額ヲ全部合計致シマシテノ稅額デゴザイマセヌノデ、一應見込トシマシテハ今度ノ稅制ニ依ル標準率デ課稅ヲ致シマス、從來ノ制限外課稅ヲシテ居リマシタト同様ノ稅收入ガ各團體ニ付テ與ヘラレルト斯ウ云フコトニナッテ居ル譯デアリマス、從ヒマシテ今日ノ狀況ヲ繼續致シマス爲ニハ、詰リ從來ハ制限外課稅ヲウント致シテ居リマシタガ、其ノ必要ガナク、今度ノ標準率ノ課稅、即チ百分ノ百、百分ノ二百デ各團體ノ財政ガ賄ヘルヤウナ稅ノ組織ニナッテ居リマスノデ、是以上増スト云フ

時ニハ更ニ積極的ノ施設ヲ致シマストカ云フヤウナ場合デナケレバ其ノ必要ガナイヤウニ一應考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ地租、家屋稅等ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタヤウニ現在ノ課率ト較ベマスト、地租ニ於キマシテハ賃賃價格百分ノ五、家屋ニ付キマシテモ平均シマスト百分ノ一餘リノ標準率ガ下ツタコトニナッテ居リマス、八七六ニナッテ居リマスノデ、其ノ點ニモ餘裕ヲ持タセルコトニ相成ッテ居リマス、斯ウ云フヤウナ點カラ見マシテ此ノ三稅ノ負擔ガ過超ニナルコトハサウ起ッテ來ナイノデハナイカト思ッテ居リマス、尙監督ノ上ニ於キマシテハ負擔ノ過超ヲ來サナイヤウニ各團體ニ付テ十分注意ヲシテ許可ヲ致ス積リデ居ルノデゴザイマス

○松村義一君 只今ノ問題ニ付キマシテ負擔ノ過超ニナラヌヤウニ十分注意スルト云フ御話デアリマシタガ、實際ハ私ハ非常ニムツカシイ問題デヤナイカト思フンデアリマス、ソレデ元是等ノ税金ニ對シテ一定ノ限度ヲ設ケラレテ、サウシテ制限外ニ課稅ヲスルト云フ時ニ、許可ヲサレルト云フヤウナ場合デモ、其ノ當時ノ事情ヲ考ヘテ見マスト、制限外課稅ハ成ルベクヤラセヌト斯ウ云フ御方針デアリ、而モ其ノ御方針ナルモノハ其ノ當時カラ見レバソレガ實行ノ出來ルヤウナ御方針デアッタラウト思ハレルンデアリマスガ、段々社會情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、地方ハ非常ニ財源ヲ要スルト云フコトニナリマシタコトデ元ノ考ハ全ク破レテシマフト云フコトニナッタノデハナイカト思フンデアリマス、今日ハサウ此ノ稅率ヲ増サズヤウニ御考ニナルト云フコトデゴザイマシテモ、又段々社會ノ進運ニ伴ッテ地方

團體ガ財源ヲ要スルト云フコトニナリマスト云フト、矢張り元ノ制限外課稅ヲドントト許可ヲナスツヤウニ將來ニ於キマシテドンノ許可ヲシテ、或ハ百分ノ百二十ヲ超シテ或ハ百分ノ二百四十ヲ超エテドンドン許可ヲナサルヤウナ工合ニナリマセヌカト云フコトヲ私ハ非常ニ心配スルノデス、殊ニ大臣ノ御説明ニナリマシタヤウニ獨立稅附加稅平年度五億三千七百萬圓、十五年度六億三千六百萬圓ト云フコトハ府縣稅ニ付テハ百分ノ百ガ限度デアリ、町村稅ニ付テハ百分ノ二百ガ限度デアルト云フコトデアリ、ソレガ十五年度ノ歲出ヲ賄フ爲ニソレダケ必要デアルト云フコトデアリマスシ、尙先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ三收益稅ノ附加稅ナルモノハ元ノ戶數割ノ代リヲ爲スノデアリマスカラ、是ハドウシテモ殖エル傾向ト見ナケレバナラス、サウト私ハ思フノデス、サウ致シマスト云フト、内務省ノ方針ガ非常ニシツカリシテ居リマセヌト云フト、是ハドンノ殖エテ行クト云フ傾向ニナルト云フコトハ決シテ私ハ杞憂デヤナイト思フ、ソレデアリマスカラ其ノ御方針ニ付テモウ少シシツカリ御見込ナリ、御考ヲ承ッテ置キタイト思フノデゴザイマスガドウデアリマセウカ

○政府委員(狹間茂君) 大體只今御述ニナリマシタ點ニ付キマシテハ先刻申上ゲタ通りデゴザイマスガ、此ノ地方稅制限法ノ考ヘ方ハ所謂制限デゴザイマシテ、ソレガ地方團體ノ財政上ノ必要ヲ充足スルト云フコトヲ前提トシテ制限ヲシテ居リマセヌ、是ハ何ト申シマスカ、寧ろ國稅ノ方ノ立場カラシテ是以上取ラサナイト云フコトニ致シテ居リマスカラ、結局ハ議論ニナルカモ知レマセヌガ、制限外課稅ト云フコトハ當然豫期セラレルヤウナ狀態ニアル、今度設ケマシタ此ノ賦課ノ標準率ト云フモノハサウ云フコトカラ全ク脱却ヲ致シマシテ、地方團體ニドレダケノ歲入ヲ與ヘレバ宜シイカト云フコトヲ前提トシマシテ、ソレカラ算盤ヲ彈キマシテ八、七、六ト云フ賦課率ヲ設ケタ譯デアリマスノデ、而モ其ノ賦課率ノ八、七、六ト申シマスカ、從來各團體ガ伸バシニ伸バシテ制限外課稅ヲウント致シマシテ、サウシテ御存ジノ通りモウウント制限外課稅ノ餘地ガ無イト思ハレル迄ヤッテ居リマス、彈力性ガ無クナル程度迄行ッテ居リマス、ソレヲ押ヘマシテ今度ノ歲入ノ計畫ヲ立テテ次第デアリマスカラ、十分地方團體ニ對シテ財政上ノ裕リヲ與ヘテ居ルト見込シテ居ルノデアリマス、ソレカラ從來ノ制限外課稅ノ實際ノ狀況ヲ見マスト云フト、今日ノ分與稅制度ノ如キ全然調整財源ト云フモノガゴザイマセヌノデ、課稅率ノ低イ、課稅客體ノ少イ團體ニ於キマシテハ、ドウシテモ制限外課稅ダトウント致サナケレバナラナイ、サウデナケレバ財政經理ガ出來ヌト云フ狀態デアリマスガ、今度ノ稅制ニ於キマシテハ一面ニ調整財源ヲ作ッテ居ルノデアリマス、ソレニ依ッテ從來ノ制限外ノ如キ問題ハ相當ニ緩和ヲサレルト云フコトニナラウト存ズルノデアリマス、ソレカラ全體ノ此ノ十億三千餘萬圓ト云フノハ、御覽ノヤウニ自然增收ガ非常ニ多イ時代ノ狀態ヲ押ヘマシテ、而モ制限外課稅ノ分ヲ全部含メテノ計畫デアリマスカラ、私共ノ見込ト致シマシテハ御心配ニナリマスカ、此ノ標準率ノ超過又超過ト云フ風ニ此ノ三收益稅ノ附加稅ガ増大シテ行ク

趨勢ハ起ツテ來ナイノデハナイカト思フノ
デアリマス、併シ御心配ニナツテ居ル點ハ當
局ト致シマシテモ最モ注意ヲ致シテ居ル點
デゴザイマスノデ、其ノ點十分私共監督ノ
局ニ居リマス者トシマシテハ注意ヲ致シマ
シテ、負擔ノ過重ヲ避ケルヤウニ致シタイ
ト考ヘテ居リマス

○松村義一君 私議論ヲ言フヤウデゴザイ
マスガ、心持ハ議論ヲ言フ譯デハ決シテア
リマセス、大體昭和十五年度ノ收入見込額
十億三千二百萬圓ト云フコトヲ押ヘラレマ
シテ、サウシテ今附加稅ナルモノハ矢張り
百分ノ百若シクハ百分ノ二百ト云フコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、シマスカラ將來其
ノ地方デハ段々施設ヲ要シ、サウシテ其ノ
財源ヲ要スルト云フコトニ相成ルデアラ
ウ、サウ云フ場合ニ於キマシテ、此ノ貧弱
ナル町村ニ於キマシテハ、今御話ノヤウニ
分與稅、配付稅デ相當ナ方法ガ付クト云フ
コトハ考ヘラレマスガ、貧弱デナイ町村ニ
付キマシテハデス、是カラ時代ノ進運ニ伴
テ仕事ヲシテ行クト云フ場合ニ於キマシテ
ハ、ドウシテモ此ノ三收益稅ノ附加稅ヲ掛
ケル外ニ財源ガナイ、斯ウ思ハレル、サウ
致シマス、ドウシテモ是ハ殖エル傾向ニ
ナルト云フ工合ニドウモ私ニハ感ゼラレル
ノデアリマスガ、將來内務省ニ於キマシテ
ハ、サウ云フ富裕ナ町村ニ對シテハ仕事ヲ
ヤラセヌノダ、斯ウ言ハレ、バ別デアリマ
スガ、ソレモ時代ノ進運ニ伴ツテ仕事ヲヤ
ラセルト云フコトニナレバ、矢張り此ノ三
收益稅ヲ殖ヤシテ行ク、之ガドン／＼殖エ
テ行クト云フヤウナ傾向ニナラナゲレバナ
ラナイヤウニ思フ、其ノ點ハドウ云フモノ
デゴザイマセウカ

○政府委員(狹間茂者) 其ノ點御尤モデゴ
ザイマシテ、貧弱團體ニ付キマシテハ配付稅
デ十分財政ノ經理ガ樂ニナルト云フコトハ
疑ヒナイ、ソレカラ資源ノ相當アル團體デ
ドシ／＼仕事ヲショウト云フ場合ニハ、是
ハ結局三收益稅ノ増徴ニ俟タザルヲ得ナイ
ト思フノデアリマスガ、今度ノ稅制ノ建前
ト致シマシテ、例ヘバ大都市ニ付テ御覽ヲ
戴キマシタヤウニ、相當此ノ獨立稅ニ於テ
増徴ヲ見ルコトガ出來ルヤウニナツテ居リ
マス、ソレカラ營業稅ノ如キハ自然増收
モ相當アリ、伸張力ノアル稅デゴザイマス
デ、其ノ方面ニ於テ歲入ハ殖エルカト思フ
ノデアリマスガ、更ニ其ノ稅收入ヨリハ越
エテ財源ヲ得テ各種ノ施設ヲ積極的ニシヨ
ウト云フ場合ニハ、ソレハ此ノ收益稅ノ増
徴ト云フコトニ依ラザルヲ得ナイカト存ズ
ルノデアリマスガ、現在ノ各大都市ナリ大
府縣ナリノ施設ノ狀況、ソレヲ繼續致シマ
ス場合ニ於キマシテハ、決シテ今度ノ財政
計畫ニ於テ齟齬ヲ來スト云フヤウナコトハ
ナイカト存ジテ居リマス、ソレカラ是ハ附
ケタリノ問題デアリマスガ、六大都市等ニ付
キマシテハ、マア最モ大キナ財源ヲ必要ト
致シマスノハ、都市計畫事業デハナイカト
存ジマス、都市計畫ノ財源トシマシテハ、
今度ノ地方稅法ニ於キマシテ、府縣分ヲ相
當委讓シテ居リマス、例ヘバ東京市ノ如キハ
此ノ率デ申シマス約一千萬圓ノ都市計畫
稅ヲ收入シ得ルト云フ狀況ニナツテ居ルノ
デアリマス

○柴田兵一郎君 御許ヲ得マシテ……、私
ハ地方團體更生策ノ一ツトシテ、重要ナル
市町村合併ノ問題ニ付テ、此ノ機會ニ政府
ノ御所信ヲ伺ヒタイト思ヒマス、從來政府

ニ於テハ市町村財政ノ調整ト、自治振興ノ
目的ヲ以テ、市町村ノ合併ヲ從應サレテ參ッ
タノデアリマスルガ、今回ノ稅制改革ニ依ッ
テ、貧弱町村ガ財政上幾分裕リヲ生ズル結
果、國家經濟並ニ地方民福利増進ノ見地ヨリ、
當然合併シナケレバナラス町村ガ無自覺ナ
ル町村民、無理解ナル町村理事者乃至ハ捉
ハレタル部落感情等ノ爲ニ、今後斯カル町
村合併ノ實現ハ困難ナル傾向ガアルノデハ
ナイカト想像セラレルノデアリマス、具體
的ニ申セバ財源ニ乏シキ貧弱ナル兩町村ハ
役場ガ近接シ、學校モ隣接シテ居リ、其ノ
他産業施設等モ合同スレバ有利ニ經營出來
ルモノガ、配付稅ノ交付ニ依ッテ自治體ノ氣
ガ緩ミ、自肅ノ念ガ薄ライデ、向上心ガナ
クナリ、從ツテ整理統合等ノ實行ハ容易ニ出
來ニクナルデハナイカト思ハレルノデア
リマス、之ニ關シテ政府ガ如何ナル御方針
ヲ執ラル、ヤ、内務大臣ニ御伺ヒ致シタイ
ト思ヒマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 私ハ稍、見解
ヲ異ニスルノデアリマスガ、今回此ノ配付
稅ガ貧弱ナル農村ニ參リマスルガ爲ニ、町
村ノ人心ガ萎靡シテ、サウシテ此ノ自治ノ
結果ガ十分ニ上ガラナクナリハセスカト云
フ御見解ハ、私トシテハ稍、ソコニ異ナル見
解ヲ持ツノデアリマス、今日ノ貧弱農村ノ
有様ヲ見マスルト、手モ足モ出ナイヤウナ
事情ニナツテ居ル所ガアルノデアリマス、教
員ノ俸給ノ支拂サヘモ出來ナイト云フヤウ
ナコトノ實際ニナツテ居リマスノデ、此ノ儘
ニ於キマシテハ、貧弱農村ハ如何トモスベ
カラズト云フ窮乏ノ有様ニナルノデアリマ
シテ、今回貧弱農村ソレ自身ガ獨立ノ財源
ヲ得、而シテ之ニ對シテ配付稅ノ配付ヲ受

ケテ、茲ニ始メテ財政上ニ息ガ付ケルト云
フヤウナ有様ニナリマスルカラ、茲ニ市町村
ノ新シキ氣分ヲ生ゼシメ得ルト考ヘテ居ル
ノデアリマス、而シテ其ノ結果ガ町村合併
ニ付テ如何ナル影響ヲ及スドラウト云フコ
トデアリマスガ、此ノ點ニ於キマシテハ
或ハ只今御話ノヤウニ、地方ニ依リマシテ
ハ支障ヲ生ジ得ルコトモアラウト想像シテ
居リマス、其ノ點ハ町村ノ合併ニ付キマシ
テハ、矢張り自治ノ強化ト云フ點カラ見マ
シテ、出來得ルナラバ之ヲ合併セシムル所
ノ方針ヲ持續シテ參リタイト思フノデアリ
マスルケレドモ、從來ノ經驗カラ見マスル
ト、町村ノ合併ト云フモノハナカ／＼口デ
ハ言ヒ安クアリマスケレドモ、事實ニ於テ
ハナカ／＼ムツカシイノデアリマスルノデ、
色々ノ歴史的或ハ經濟的、或ハ地方ノ人情
ノ相違ト云フヤウナコトデ、理窟ハ兎モ角
ト致シマシテ、感情的ニ之ヲ融和シテ圓滿
ニ町村ノ合併ヲヤルト云フコトニ付テハ、
隨分苦心ヲシテ居ル點ガ多イノデアリマス、
併シナガラ苟モ此ノ全體カラ見マシテ、合
併ヲシタ方ガ總テ自治機能ノ發展ノ上ニ宜
シイト云フ風デアリマスルナラバ、私ハ此
ノ合併ヲ進メマスル方針ヲ今後モ執ツテ參
リタイト斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、併シ
往々ニシテ無理ノ合併ヲ致シマシテ、後デ
豫期モシナイ結果ヲ來ス場合モナクハナイ
ノデアリマスルケレドモ、此ノ點ニ付テハ
十分注意ヲ致シマシテ、圓滿ナル發達ノ出
來マスル場合ニ於キマシテ、之ヲ合併スベ
ク、而シテ自治ノ機能ヲ強化スベキ方針ヲ
持續シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデア
リマス

○柴田兵一郎君 只今内務大臣ノ御說ヲ承

リマシテ、大體政府ノ町村合併ニ對スル御意嚮ヲ伺フタリマスガ、併シ私ハ町村合併ハ矢張り地方ノ振興策ノ一ツノ要件デアルト常ニ感じテ居ル者デアリマス、國家經濟上殊ニ總力戰下ノ今日、人的並ニ物的ノ節約ノ上ヨリ、政府ト致シマシテハ、積極的ニ指導、獎勵、斡旋セラレテ、是ガ實現ニ進マレタイト希望シテ居ル次第デアリマス、ドウゾ今後此ノ方面ニ一層ノ御留意ト、御努力アラムコトヲ希望シテ已マナイ次第デアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 岡部子爵ニ申上ゲマスガ、岡部子爵ノ御質疑ニ對スル答辯ト致シマシテ、大藏省ノ政府委員ガ來テ居リマスカラ、此ノ際、宜シケレバ……

○子爵岡部長景君 ア、サウデスカ
○柴田兵一郎君 委員長暫ク、モウ一ツ伺ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 今岡部子爵ト御話シテ居リマスカラ……

○子爵岡部長景君 時間ノ都合デハ午後デモ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵前田利定君) 此ノ際願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐君) 御參考迄ニ御提出致シマシタ所得種類別ノ、今回改正ニ依リマス負擔額ノ比較調ヲ提出致シタノデアリマスガ、尙此ノ上ノ方ノモット所得ノ多クナツタ場合ノ負擔ノ變化ハドウカト云フ御尋ト了承致シマスガ、綜合所得稅ヲ課稅致シマス以上ニ於キマシテハ、此ノ所得ノ内容ヲ配當所得ト見ルカ、田畑所得ト見ルカ又ハ勤勞所得、各種ノ配合ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、非常ニ色々ノ差異ヲ生ジマスノデ、計算ガ非常ニ困難デゴ

ザイマス爲ニ、計算ハ致シテ居ラナイノデゴザイマスガ、大體ノ傾向ヲ申上ゲマス、此ノ五千圓以下ノ、即チ國稅ニ於テ分類所得稅ノミヲ課稅致シマス場合ニ於キマシテハ、此處ニ御手許ニ差上ゲマシタヤウニ、例ヘバ三千圓ノ場合ニ於キマシテ配當所得等ニ付キマシテ、是ハ非常ニ變化ガアリマス爲ニ、從來現在ニ於テ九十四圓ノモノガ改正後ハ三百圓ニナリ、又勤勞所得ニ於キマシテモ從來九十四圓ノモノガ百四十四圓ニナルト云フヤウニ非常ニ激増致シテ居リマス、併シ斯ウ云フ傾向ハ上ニ行ク程段々ナクナツテ來ルノデアリマシテ、ズット上迄斯ウ云フ非常ニ激増ノ經過ヲ辿ッテ行クト云フ傾向ハナイノデアリマス、併シ又田畑所得ト配當所得、是ハ今度改正後ニ於キマシテ田畑所得ガ國稅、地方稅ヲ通ジマシテ五百八十二圓、ソレニ對シテ配當所得ガ三百圓ト云フヤウナ間差モ綜合所得稅ヲ課稅スルニ從ヒマシテ、是モ縮マツテ參ル傾向ニアルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ所得ノ種類ヲ離レマシテ所得ガ段々多クナルニ從ッテ、今度ノ改正ガドウ云フ影響ヲ持ッテ居ルカト云フコトデゴザイマスガ、之ヲ極ク概要ヲ申上ゲマス、御承知ノヤウニ今回ノ分類所得稅ニ於キマシテハ、比例稅率ヲ用ヒテ居リマシテ、事業所得、勤勞所得ニ付キマシテハ一定ノ基礎控除ヲ設ケマシテ、此ノ比例稅率ガ輕微ノ累進率ヲ用ヒタヤウナ作用ヲ爲スヤウニ致シテ居リマスガ、田畑所得即チ不動産所得及配當所得ニハ是ガゴザイマセス、從ッテ所得階級ハ五千圓ニ至ル迄ハ增稅率ガ一千圓、二千圓ノ所ハ比較的高ク、五千圓ニ行クニ從ッテ今回ノ增徴ノ割合ト云フモノガ多少低クナツテ居

リマス、段々低クナツテ行ク傾向ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、五千圓カラハ又綜合所得稅ヲ課稅致シマスカラ、其ノ傾向ハ是正セラレテ參リマスガ、併シナガラ五千圓ヲ超エマシテ、綜合所得稅ヲ課稅スル場合ニ於キマシテモ、五千圓ヲ控除致シマシテ課稅致シマス結果、ドウシテモ五千圓ニ近イ所ハ五千圓ヲ超過致シマス部分ニ綜合所得稅ノ累進率ヲ適用スルノデアリマスカラ、五千圓ヲ隔タルコト餘リ遠クナイ場合ニハ其ノ增徴率ガ比較的緩イノデアリマス、下方ノ二三千圓ノ階級ニ比シテ緩イト云フ傾向ヲ持ッテ居リマス、一萬圓以上ニナリマス、大體ソレガ平均セラレテ參ッテ居ルノデアリマスガ、ソレニ致シマシテモ分類所得稅ヲ今回課稅致シマスコトニ依ッテ新タニ課稅致シマス五百圓、六百圓、或ハ千圓前後ノ增徴率カラ見マス、綜合所得稅ヲ課稅致シマス一萬圓以上ノ所ヲズット上迄デゴザイマスガ、サウ云フモノハ從來カラ相當高イ課稅ヲ受ケテ居リマシタ爲ニ、今回ノ增徴ノ割合カラ見レバ、增徴ノ割合ハ比較的緩イノデアリマシテ、大體分類綜合所得稅ヲ課稅致シマスト大體十萬圓前後ノ所ハ一割程度ノ增徴ニ相成ッテ居ル譯デアリマス

○子爵岡部長景君 大體今ノ御説明デ分ッタノデアリマスガ、デモウ一ツ伺ヒタイノハ、今日ハ大藏省ノ當局ガ御出デニナツテ居リマスカラ其ノ方ニ伺ヒマスガ、此ノ田畑所得、配當所得等ハ、是ハ所謂何ト云ヒマスカ、勤勞所得デナイ、不勤勞所得ト云ヒマスカ、之ノ所得稅ナリ、或ハ其ノ他ノ課稅ガ、配當所得ノ方ハマア三千圓ノ場合トスレバ一割、田畑貸付ノ方カラ言ヘバ二割近クノ課稅ヲセラレル譯デアリマスガ、是ハ大體下ノ位ノ差等ガアルコトガ適當デアルト御考ニナリマスガ、或ハ從來ノ沿革カラ本當ニソレガマダ拔ケ切レナイト云フコトガアリマスノデスカ

○政府委員(田中豐君) 御尤モナ御尋デゴザイマスガ、兩方デ、從來ノ沿革並ニ多少此ノ種類ヲ異ニスル兩方ノ理由デアルト思ヒマス、デ申上ゲマスレバ、田畑所得若シクハ營業所得ハ其ノ地方ノ色々ノ施設ニ依リマシテ利益ヲ受ケル、ソレニ對シテ地方稅トシテ應益ノ意味ニ於ケル稅ヲ國稅ノ外ニ配當所得ニ於テ納メナイモノヲ納メマス爲ニ、相當其處ニ配當所得ト他ノ田畑所得、營業所得ノ間ニ開キガ出來テ居ルノデアリマス、此ノ開キハ或程度此ノ改正案ニ現レタノハ正シイカドウカハ別ト致シマシテ、或程度ノ開キガアツデモ宜イモノダト考ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ地方稅ヲ課稅致サナイ爲ニ、配當所得ガ田畑所得又ハ營業所得ニ比シテ輕ク相成ル譯デアリマスガ、一ツハ沿革ノナ理由ガアリマシテ、御承知ノヤウニ配當所得ニ對シテハ從來會社ニ課稅致シテ、個人ニハ課稅致サナカッタキモアツタノデアリマスガ、只今デハ個人ト會社トヲ分離致シマシテ、會社ノ配當ニモ課稅、又益金ニモ課セルコトニ相成ッテ居リマスノデ、大體企業ノ負擔ト云フ面カラ見マスルト、此ノ會社ニ對スル課稅ト、ソレカラ其ノ利益ガ個人ニ配當サレタ場合ニ於ケル配當ノ課稅ト或程度其處ニ通算シテ見ナケレバ企業ノ負擔ト云フコトハ或程度考慮シナクテナラヌ部分ガアルデアラウト思ヒマス、ソレデ兩者ヲ獨立シテ課稅スル主義デ以テ進ンデ居リマスガ、サウ云ツヤウ

ナ所カラ從來非常ニ課稅ハ地方稅ヲ通ジマシテ、不動産所得、配當所得、フ較ベマスレバ非常ニ開キガアリマシタモノヲ、今回ノ改正ニ依テサウ云フモノヲ近付ケタト云フ程度ノ改正ハ致シマシタガ、一舉ニ之ヲ同額ニスルト云ツヤウナ所迄行キマスルニハ、只今申シタ企業ノ負擔ノ點、或ハ又此ノ所得ノ違ヒ、即チ地方稅トシテ應益的ナ課稅モアルト云フヤウナ點モ加味致シマシテ、今回ニ於キマシテハ此ノ程度ハ已ムヲ得ナイト考ヘテ、斯様ニ致シタ次第デアリマス

○子爵岡部長景君 只今ノ御説明デ能ク分リマシタ

○公爵一條實孝君 私ノ御答ヲ一ツ願ヒマス、今御答ガナクテモ、表デ書イテ戴ケバ結構デス……ソレデハ伺ヒマセウカ……改メテ大藏省ノ當局ニ伺ヒマス、三千圓ノ表ハ確カニ了承致シマシタ、先程ハ非常ニ大難把テ御話デアリマスガ、具體的ノ御話ヲ伺ヒタイト思ヒマス……出來マセスカ、假ニ三萬圓トカ、五萬圓トカ、十萬圓トカ、三ツデ結構デス、ソレノ假ニ配當所得ガドレダケ、今迄ノ例ト今度ノハドウカト云フコトノハツキリシタ數字ヲ出シテ戴キタイ、先程大體一割位ノ今ノ稅ノ増スト云フヤウナコトダケデハチヨット私ニハハツキリ分リマセス

○政府委員(田中豐君) 三萬圓、五萬圓、十萬圓位ノ數字ヲデスカ

○公爵一條實孝君 ソレデ結構デス

○政府委員(田中豐君) 其ノ所得ヲ配當ノミ、不動産ノミト假定致シマシテ、其ノ數字ヲ計算致シマシテ後刻申上ゲマス

○委員長(子爵前田利定君) モウ正午近ク

デスカラ、松村君ト柴田君ニ御諮リ致シマスガ、午後ニ御ヤリ願ヘマセデセウカ

○松村義一君 私今大藏省ノ御方ニ御尋ネシヨウト思ツタノデゴザイマスガ、ソレデハ今一條公爵ノ御話ノ其ノ表ガ頂戴出來マシタ其ノ時ニ又御伺ヒ致シマス、サウ云フ意味デ……

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ柴田君、ドウカ午後ニ願ヒタイト思ヒマス

○柴田兵一君 ドウゾ……

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ午前ハ此ノ程度デ會ヲ閉ヂマシテ、午後ハ一時半カラ會議ヲ開キマス、ソレ迄休憩致シマス

午前十一時五十七分休憩

午後一時四十三分開會

○委員長(子爵前田利定君) 午後ノ會議ヲ開キマス、午前ニ續行シテ質疑ヲ御許シ致シマス、此ノ際皆様ニ御諮リ致シマスガ、委員外ノ山隈君ガ地方稅ノコトニ付テ質疑ヲナサレタイト云フコトデゴザイマスガ、一ツ順位ヲ御譲リ下サイマシテ、御承認ヲ願ヒタイト思フノデスガ、御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナシト認メマス、山隈君

○委員外議員(山隈康君) 皆様ノ御承認ヲ得マシテ有難ク存ジマス、私ノ御尋ヲ申上ゲマスルコトハ極メテ簡單ノ事項デアリマス、小學校教員俸給ヲ道府縣ノ負擔ニスル、是ハ何レ勅令ヲ以テ負擔團體ヲ御決定ニ相成ルコトト存ズルノデアリマス、道府縣ノ負擔トスルコトニ付キマシテハ衆議院デモ相當ノ議論ガアリマスシ、又之ニ對シテ私

共モ若干意見ハ持ツテ居リマスケレドモ、今其ノ當否ヲ彼此論議セムトスル趣旨デハアリマセス、唯質問ノ趣旨ヲ明白ナラシムル爲ニ、道府縣ノ俸給ハ道府縣ノ負擔トスルト云フコトカラ生ズル小學校教育ニ對スル影響ヲ若干申述べルコトヲ御許ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、從來小學校教員ノ俸給ヲ市町村民ノ納稅ヨリ之ヲ支拂フ致シマシテ、其ノ關係カラ致シマシテ、内申權ニモ重大ナル使命ヲ有シ、若シ内申權ノ行使ヲ誤ツテ其ノ爲ニ適當ナ教員ノ選任ヲ得ナイ場合ニ於テハ、少クトモ市長ハ市民ニ對シテ重大ナル責任ヲ感ズルノデアリマス、又此ノ重大ナル使命ヲ有スル内申權ニ依ツテ選任致シマシタル教員ニ對スル監督、無論法制上ニ於テハ別ニ監督ノ規定ハナイヤウデアリマスルケレドモ、實際ノ上ニ於キマシテハ、市民ヨリ俸給ヲ支拂セシメマスル關係カラ致シマシテ、教員ノ素行教授方法ニ對シマシテ全責任ヲ負ツテ小學校教育ノ完璧ヲ期シテ居ルノデアリマス、是ノ故ニ現實ノ事情カラ申上ゲマスレバ、教員ノ素行、若シハ教授方法等ニ付テ缺陷ガアレバ、市民ハ第一番ニ市長ノ責任ヲ問フ、是ノ故ニ市ハ學務課ヲ設ケテ課長ヲ設ケ、視學ヲ設ケ、教育主事ヲ設ケ其ノ他幾多ノ吏員ヲ任命致シマシテ、其ノ責任ヲ完全ニ盡スコトニ努力ヲシテ相當ノ費用モ拂ツテ居ル次第デアリマス、然ルニ俸給ノ支拂ガ道府縣ニ移ル、任命權ハ無論縣知事ニアルノデアリマス、其ノ上ニ俸給ニ對スル支拂ヲ府縣知事ガ持ツト云フコトニナリマスレバ、此ノ縣ノ小學校教育ニ對スル責任ハ、更ニ一層重大ヲ加ヘルノデアリマス、一面縣ノ責任ノ重大ヲ加ヘマスルト共ニ、他面市ノ監督

ヲ内申權等ニ於キマシテ何ダカ責任ノ輕キヲ感ズル、議論ハ別ト致シマシテ、實際ノ問題カラ致シマスレバ、責任ノ輕キヲ感ズルノデアリマス、更ニ率直ニ申述べマスレバ、市長ハ小學校教員ノ任命及監督ニ對シテ重大ナル責任ヲ有スルノハ、市民ヨリ其ノ俸給ヲ徵收シテ支拂スル、市民ノ納稅ニ依ツテ支拂ラスルト云フ點カラ致シマシテ、責任ガ重クナツテ居ルヤウニ感ズルノデアリマス、既ニ市民ハ給料ハ拂ハナイ、道府縣ニ移管ヲサル、關係カラ致シマシテ、市民ニ對スル市長トシテノ責任監督、是ハ先刻申述べマスル如ク若干輕キヲ感ズルノデハナイカト思フノデアリマス、現ニ最近ノ例ト致シマシテ、防護團ノ如キハ、從來ハ市長ガ指揮監督ノ任ニ當ツテ全責任ヲ背負ツテ居タ譯デアリマス、然ルニ今回ソレガ縣ノ警察ノ手ニ歸シマシテ、警察ガ防護團ニ對スル指揮監督ノ命令ヲ持ツヤウニナリマシタカラ、警防團ニ對スル市ノ熱意ガ段々薄ラギマシテ、警防團ノ費用負擔ニ對シテハ相當市町村會デ議論ガアリマシテ、其ノ負擔ヲ甘ンジテスルト云フコトガ漸次薄ライダ感ガアルノデアリマス、斯様ニ此ノ市長ガ自然ト責任ガ薄クナル、内申權モ元ノヤウニ重キ責任ヲ以テ行使シナイト云フコトハ、直チニ小學校教員ニ反映ヲ致シマシテ、教員ノ市ニ對スル依存、信頼ノ念ガ薄クナル、是ハ色々ナ方面ニ影響ヲシハシナイカト思ヒマス、例ヘバ學級ノ増加、之ニ伴フ學校ノ増加ニ付テ、或ハ設備、斯ウ云フモノニ對シテ市ガ直接ニ給料ヲ支拂ヒ、尙監督ヲ致シマシテ、全責任ヲ負ウタ當時ニ比シマスレバ、是ハ人間ノ弱點ト致シマシテ、ソレ等ノ點ニ付テ若干遺憾ヲ感ジハシナイカト思フノデアリマス、

更ニ私共ノ非常ニ痛切ニ考ヘマスルコトハ、現今ノ社會教育、即チ全市民ノ教育、或ハ愛國、國防婦人團、青壯年、處女會若シクハ隣保相助、斯ウ云フモノハ主トシテ學校ヲ中心トシテ居リマス、其ノ指揮、監督、周旋ヲスルモノハ學校長ガ自ラ其ノ任ニ當テ居ルノデアリマス、此ノ間市ト學校當局トノ間ハ殆ド非常ニ密接ノ關係ヲ持ツテ、今日ノ社會教育ト云フモノハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ市長ガ教員ニ對スル責任感、監督ノ感ガ薄ライデ、又教員ガ市ニ對シマスル所ノ依存信賴ト云フモノガ薄ラギマスレバ、此ノ間ノ社會教育ノ問題ニ對スルコトモ相當影響ヲ來スノデハナイカト云フ、是ハ現實ニ即シテ理論ヲ離レマシタル實際ノ問題カラサウ云フコトヲ痛切ニ考ヘラレルノデアリマス、是ノ故ニ衆議院ニ於キマシテ、六大都市ニ限ツテ俸給ノ仕拂ヲ其ノ市ノ手ヲ經テ教員ニ交付スル、斯ウ云フ意見ガ出マシテ、承ル所ニ依リマスルト、政府ノ方デモソレニ御同意ニ相成リマシテ、勅令ヲ以テ其ノ旨ヲ御定メニナルカト承知ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ甚ダ十分デハナイノデアリマスルケレドモ、之ニ依リマシテモ只今申上ゲマシタル弊ノ若干ヲ救フコトガ出來ルト存ズルノデアリマス、私ノ御尋ヲ致シマスル趣旨ハ、六大都市ニ限ツテ、他ノ都市ニ之ヲ同様ノ御取扱ヲ爲サレナイ理由ヲ一ツ明白ニ承知ヲシタイト存ズルノデアリマス、衆議院ニ於ケル當初ハ分與金ヲ若干六大都市ニ與ヘラレテ、此ノ六大都市ノ豫算ヲ通ジテ之ヲ交付シタイト云フヤウナ要求ガアツタヤウデアリマス、ソレニ對スル政府ノ御説明ニ依レバ、ソレハ今日六大都市ノ

他ノ都市ト區別ヲシテ、差別ヲ設ケテ、處置ヲスル筋合デナイト云フ意味デ御説明ニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、現今ノ六大都市モ其ノ他ノ都市ニ於キマシテ、同一ノ市制ノ下ニ支配サレテ居ルノデアリマス、此ノ同一ノ市制ノ下ニ支配サレテ居ル都市ニ對シテデス、一方ニハ其ノ市長ノ手ヲ通ジテ金ヲ交付スル、他ノ都市ニハ之ヲ與ヘナイト云フコトハ、其ノ基礎ハ何處ニ在ルカト云フコトヲ私共疑フノデアリマス、經濟問題、是ハマア各大都市ト他ノ都市トノ間ニ於テハ機構ヲ異ニ致シマスルカラ、衆議院デ議論ガアリマシタヤウニ、自動車税金ノ若干ヲ六大都市ニ交付スル、斯ウ云フ經濟問題ニ於キマシテハ、大都市ト其ノ他ノ都市トノ間ハ、機構ハ自然ト異ナルノデアリマスケレドモ、小學校教育ニ關スル事柄ニ於キマシテハ、何等其ノ間ノ區別ガナイ、今全國ニ於テ二十萬内外ト云フモノガ一番都市トシテハ多イヤウデアリマス、是等ノモノハ凡ソ二十二三ノ學校ヲ有シ、少クトモ四百名、五百名内外ノ教員ヲ各都市ニ持ツテ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ都市ノ特有ナル或ハ産業都市、工業都市、其ノ都市ニ特有ナル特別ノ再教育ヲ教員ニ施シマシテ、其ノ都市ノ事情ニ通ズル教育ヲ爲シツ、アル譯デアリマス、是等ハ唯大小ノ差コソアレ、其ノ性質、條件ハ何等此ノ六大都市ト其ノ他ノ都市トノ間ニハ區別ガナイノデアリマス、更ニ都制若シクハ特別市制ガ出來マシテ、其ノ形態ニ於テ自然他ノ都市ト異ナル場合ニ於テハ、ソレハ私共モ議論ノ餘地ガナイノデアリマス、現在ノ同一市制ノ下ニ支配サレル都市ノ間ニ於テ區別ヲサレルト云フコトハ、

是ハ私ノミナラズ六大都市ノ前途ニハ甚ダ遺憾ヲ感ジテ居ルノデアリマス、是モ別ニサウ大シタコトデハナイ、何等ノ弊害モナイ、町村トハハ自然ト内申權ノ關係モ違ヒマスルシ、又制度ノ上ニ於キマシテモ、町村制ト市制トハ其處ニ性質ノ相違モアルノデアリマスカラ、町村制ト市制ト區別ガアルト云フコトハ、是ハマア當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル政府ノ御所信ヲ承リタイ、是ハ唯教員ノ俸給ヲ市ノ手ヲ經テ渡スト云フコトダケデアリマスカラ、必ズシモ此ノ六大都市ニ限ラヌノデアツテ、他ノ都市デモ同様ナ取扱ヒニ相成リマシテモ、少シモ教育ノ上ニ於キマシテモ、政府ノ御方針ノ上ニ於キマシテモ何等ノ區別ガナイ、若シソレガイケナイトスルナラバ、六大都市ニ御許ニナツタ理由モ私ハ分ラナイト云フコトニナリハシナイカト云フコトガ第一點デアリマス、ソレカラモウ一ツ、是モ簡單デアリマス、市民税ノ問題、是モ私共ハ結構ナ稅ダと思フノデアリマス、唯實際問題トシテ、非常ニ私共苦痛ヲ感ジマスルノハ、市民税ノ賦課ニ關スルコトハ、各市ノ狀況ニ依ツテ、條例ニ依ツテ之ヲ制定スル、是モ結構デアラウト存ジマスル、併シ若シ此ノ市ノ條例ニ依ツテ市民税ノ賦課ノ方法ヲ決定スルト致シマシタナラバ、恰モ戸數割ト同様ニ賦課ノ基準ハ、一面ハ所得、一面ハ資産、所得ノ點數ハ何點、財産ノ點ハ何點ト決メマシテ、ソレニ依ツテ査定ヲスル外ニハ課税ノ途ハ容易ニ見當ラナイト存ズルノデアリマス、サウ致シマスルト、例ヘバ三萬戸ヲ有スル都市ハ六圓平均ニ致シマスルト、三六ノ十八萬、サウシテ此ノ三萬ニ對スル各人ノ所得

資産ヲ取去リマスルノハ戸數割ト同様デ非常ニ限ラレテ居ル、ソレハ數箇月ニ互リマシテ、各種ノ臨時雇ヲ雇入レマシテ、サウシテ總テノ資産若クハ所得ノ狀況ヲ精査致シマシテ、其ノ間ノ課税ノ決定ヲセニヤナラス、少クトモ或ハ三分ノ一位ノ費用ヲ要スルノデハナイカト思フノデアリマス、無論此ノ市民税ハ御説明ニ依リマスレバ、市民ノ分擔ノ精神ヲ明カニスルト云フコトニ重點ヲ置イタモノデアアル、從ツテ收入ト云フコトニ重キヲ置イテ居ナイト云フヤウナ御説明ガアルヤウデアリマスルケレドモ、苟クモ稅ノ收入トアル以上ハ、少クトモ其ノ都市ノ收入ト云フコトガ重キヲ爲スト云フコトハ、稅其ノモノノ性質カラシテ疑ノナイコトデアリマス、然ルニ僅カナ税金ヲ得ムガ爲ニ多額ノ費用ヲ要スルト云フコトハ相當其ノ困難ヲ感ズルヤウデアリマス、是等ハ政府ノ方デモ、ソレハ多額ノ費用ヲ要シナイ適當ノ方法ガアルト云フヤウナ御意見デアルト云フコトモ拜聽シテ居ルノデアリマスガ、ソレモ此ノ際明白ニ御答ヲ願ヘレバ結構ト存ジマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 教育費ノ問題ニ付テノ御尋デアリマスガ、此ノ點ハ會テ御説明ヲ申上ゲタコトモアリ、且又本體ハ他ノ委員會ニ存在シテ居ルノデアリマス、即チ教育費地方分擔金ノ委員會ノ方ガ主體ニナツテ居リマスルガ、併シ此ノ委員會ニモ關係ガアリマスノデ、此處デ議論サレテ一同差支ナイト思フノデアリマスガ、最初御述ニナリマシタ點ニ付キマシテハ、成程善イ方バカリ見マスルト云フト、サウ云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、山隈君モ御承知ノ通り、從來教員俸

給ノ問題ニ付キマシテ地方的ニ色々ノ事情ガアツト云フコトハ申上グル必要モナイト思ウテ居ルノデアリマス、ソコデ今回教育上ノ方面、ソレカラ負擔ノ方面、兩方面カラ考ヘマシテ、之ヲ道府縣ニ移シタト云フコトニナツタノデアリマス、而シテ此ノ仕拂ヒ方ヲ六大都市ニ委任ヲ致スコトニシ、而シテ他ノ市町村ニハ之ヲ認メナカッタ、此ノ點ガ主ナル御質問ノヤウデアアルノデアリマス、政府ト致シマシテハ、今日ニ於テモ全部府縣ニ於キマシテ直接俸給ヲ支拂フ事柄ガ宜イト考ヘテ居ルノデアリマス、ケレドモ、併シ六大都市ノコトヲ考ヘテ見マスルト、既ニ法律ニ於キマシテ六大都市ノ特別ノ地位ヲ認メテ居ル關係モアリマサルシ、又事實ノ上ニ於キマシテ其ノ教育機關ノ完備、財政ノ點カラ見マシテモ、之ヲ他ノ市町村ト特別ニ取扱フト云フ事柄ハ必ズシモ反對スベキ所ノ理由ヲ見出サナイノデアリマス、即チ六大都市ガ法律的竝ニ實際上ノ事情カラ、他ノ市町村ト異ツタ状態ニアルト云フ點カラ之ニ俸給ノ仕拂ヒヲ委任スルト云フコトニ致シタノデアリマス、而シテ從來教員ヲ内申ヲ致シマス、權利デハナイカモ知レマセスケレドモ、事實上内申ヲシテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、六大都市モ他ノ都市ト同ジデアアルノデアリマスケレドモ、併シ只今申上ゲマシタルヤウナ、六大都市ガ他ノ都市ニ比シマシテ特殊ノ地位ニアル關係カラ、之ニ限ツテ俸給仕拂ヲ委任シテモ差支ナイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ只今御話ニナリマシタルヤウナ風ニ、一般都市ニ向ツテ同様ノ取扱ヲ致スト云フコトニハ政府ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○政府委員(狹間茂者) 市町村民税ノ賦課方法ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、是ハ初メテノ税デゴザイマスカラ、色々施行上ニ付テハ研究スベキ點モアルト思フノデアリマスガ、此ノ調査ニ付テ非常ニ手數ガ掛リ事務費ガ必要デアルト云フ風ヲ御見込ノヤウデアリマスガ、是ハ實ハサウ云フ點ヲ考慮致シマシテ、此ノ賦課方法ニ付テハ、成ルベク簡易便宜ナ方法ヲ執ラセルヤウニ致シタイ、法律デハ唯原則デケテ規定シマシテ、他ハ市町村條例ニ讓ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、サウシマシテ課税標準ノ決定ニ付キマシテハ、例ヘバ所得額ヲ用ヒマシテ等級ヲ付ケマシテ、其ノ等級ニ應ジタモノニハ何圓、何十圓ト云フ風ニ賦課スルトコトニ致シマスレバ、調査ハ比較的簡單ニ參ルノデハナイカト思ヒマス、又先日申上ゲタヤウニ家屋、宅地等ノ賃賃價格ヲ標準トシマシテ等級ヲ設ケルト云フヤウナ方法モ執レルト思フノデアリマス、戸數割ト全然同ジ方法ヲ執レバ戸數割ノ如キ煩瑣ナ手續ガ要ルト思ヒマスガ、此ノ程ノ課税標準ノ決定ノ取り方トシマシテハ、極ク簡單ナモノニ依ツテ課税セシメルヤウナ手段ヲ考ヘテ居リマスノデ、御述ニナリマシタルヤウニ、此ノ爲ニ非常ナ事務費ガ掛ルト云フコトハ出來ルダケ避ケルヤウニ致シタイ、簡單ナ方法ニ依ラシタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○委員外議員(山隈康者) 只今内務大臣御出デニナラスヤウデアリマスカラ局長ヨリ御答ヲ得レバ結構ダト思ヒマス、只今第一ノ質問ニ對シマスル内務大臣ノ御答辯ニ對シマシテ、十分了解致シ兼ねル點ガアリマスカラ簡單ニ御尋ヲ申上ゲタイト存ジマス、六大都市ガ教員ノ給料ヲ市ノ手ヲ經テ交付スルト云フコトヲ要求致シマシテ理由ハ、内申權ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、内申ノ作用ヲ強化セシムルト云フヨリ外ニハ私ハ何等ノ意義ガナイノデハナイカ、六大都市ト云フ特別ノ構成、特別ノ事情ガアルガ爲ニ、教員ノ給料ヲ六大都市ノ手ニ依ツテ渡シタイト云フノハ、唯ハ單ナル内申ノ作用ヲモウ少シ強化シタイ、ソレニハ矢張り給料ヲ六大都市ノ手ニ依ツテ交付スルト云フコトヨリ外ニハ解釋ノ餘地ガナイノデス、サウスレバ其ノ點ハ他ノ都市ト少シモ變ラスヤウニ思フノデアリマス、只今大臣ノ説明中ニハ、ドウ云フ點ノ機構ガ變ルカラ、ソコデ他ノ都市ニハ市ノ手ヲ經ル必要ハナイ、併シ六大都市ハドウ云フ點ガ、手ヲ經ナクテナラスト云フ必要ノ點、ソレガ明白デナイイトチヨット御答辯ガ私ノ胸ニ落チス、其ノ點ヲ一ツ尙……

○政府委員(狹間茂者) 六大都市ニ付テノミ俸給ノ仕拂ヲ府縣知事カラ市長ニ委任スルヤウナ形ヲ執ルコトニ付キマシテハ、別段此ノコトガ内申權ノ内容ヲ強化スルト云フ結果ニハナラナイヤウニ私共考ヘテ居ルノデアリマス、全ク是ハ俸給支拂ノ便宜ノ問題デアルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、唯勅令デ規定致シマスト云フコトハ、是ハサウ云フ機關ニ仕拂事務ヲ委任シマスコトガ、勅令ヲ以テ定メナケレバナラナイヤウナ法制ニナツテ居リマスノデ、勅令デ定メルノデアリマシテ、別段之ヲ非常ニ鄭重ニ扱フト云フヤウナ關係デハゴザイマセヌ、内申權ノ内容ニ付キマシテモ、別段之ガドウ勸クカト云フコトハ、具體的ニハ私共考ヘテ居ナイノデアリマス、唯事務上ノ便宜ノ爲ト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○委員外議員(山隈康者) 必ズシモ御答辯ヲ求メンデモ宜シイノデゴザイマスガ、六大都市ノ手ニ依ツテ給料ヲ拂フト云フコトハ、給料仕拂ノ便宜ノ方法ナリト云フコトハ、甚ダ私ハ了解ニ苦シムノデアリマス、若シソレガ、六大都市ダケハ其ノ手ヲ經テ拂フ方ガ便利デアルトスルナラバ、其ノ他ノ都市モ矢張り其ノ手ヲ經テヤッタ方ガ仕拂ニハ便利デハナイデスカ、他ノ都市ハ不便デアツテ、六大都市ノミ其ノ手ヲ經ルト云フコトガ便利デアルト云フコトハ、ドウモ了解ヲ致シ兼ねルノデアリマス、尙御説明ガアレバ伺ヒマス

○政府委員(狹間茂者) 是ハ先刻大臣カラモ答辯ガアリマシタ通り、現在ノ制度ノ下ニ於キマシテモ監督事務等ニ付キマシテハ六大都市ニ付テハ特別ノ取扱ヲ致スヤウナコトニナツテ居リマシテ、事務ノ簡易化ト云フヤウナコトカラ、相當勅令デ六大都市ニハ特別ヲ認メテ居リマスノデ、大體今回モサウ云フヤウナコトト相通ジタ見方ノ下ニ、仕拂事務ヲ市長ニ委任スルト云フコトニナツテ居ル譯デアリマス

○委員外議員(山隈康者) 之デ御終ヒデスガ、甚ダ濟ミマセヌガ、ドウモ益、御答辯ニ對シテ疑惑ガ深クナルノデアリマスガ、色々ナ事情ガアルカラ、他ノ都市ト違ツテ六大都市ダケハ其ノ手ヲ經テ給料ヲ拂フト云フ點ニ、ドウ云フ事情ガ異ツテ居ルカラ、六大都市ダケハ其ノ手ヲ經ナケレバナラヌト云フコトノ御説明ガ十分ニ納得ガ出來マセヌ、是ハ蓋シ私共ノ推測スル所ニ依リマスルト、衆議院デ相當ノ議論ガアリマシタカラ、結局六大都市ダケ仕方ガナイト云フ妥協的ニ御出ニナツタモノト私ダケハ解釋シ

テ居リマス、此ノ程度デ私ノ質問ヲ打切ル
コトニ致シマス、ドウモ甚ダ貴重ナ時間ヲ
割イテ戴キマシテ有難ウゴザイマシタ

○松村義一君 私午前ニ於キマシテ収益税
ノ附加税ニ付テ御質問ヲ申上ゲタルデアリ
マスガ、是ハマア色々申上ゲテモ結局議論
ガマシクナルノデ、餘リ申上ゲルコトハ止
メルコトニ致シマスガ、要スルニ將來負擔
ガ著シク増加シナイヤウニ十分ナル監督其
ノ他ノ御措置ヲ御願ヒシタイト思フ、尙ソ
レニ關聯シテ御質問申上ゲタイノハ家屋税
ニ付テデアリマス、先達テ政府委員ノ御答
ニ依レバ、賃賃價格ヲ現在凡ソ十八億デア
リマスガ、ソレヲ將來ハ十五億ニ減ス考デ
アルカラ其ノ點ニ於テモ減税ノ傾向ヲ迎ル、
斯ウ云フ御話デアリマス、是ハ果シテ御見
込ハサウデアアルトシテモ出來ルデセウカ、
ト云フノハ、先達テカラモ御質問ノ中ニアッ
タト思フノデスガ、段々物價ガ高クナル、
サウ云フ際ニ於テ賃賃價格ヲ減スト云フコ
トガ出來ルカドウカト云フコトヲ私非常ニ
心配致シマス、假ニ家賃ノ問題ニシテモ、昨年
九月十八日ノ命令デシタカ、一齊ニ物價ヲ
上ゲテハイカヌ、家賃モソレニ依ッテ一昨年
ノ八月幾日カラヨリ上ゲテハイカヌト云フ制
限ヲシテ居リマス、併シ今日ノ實際ヲ見ルト、
家ニ關係スル總テノ費用、修繕費等ハ著シ
ク騰ッテ居リマス、ソレニ家賃ダケハ一昨年
ノ八月デ止ッテ居ル、斯ウ云フコトハドウシ
テモ不條理ニ違ヒナイト思ヒマス、從ッテ將
來物價ノ適正ヲ期スルト云フヤウナ方針ノ
下ニ、總テノ物價ニ付テ審議セラレル場
合ニ於テハ、家賃ニ付テモサウ云フ不合理
ニ付テハ之ヲ排除シテ合理化スルト云フヤ
ウナ意味デ、殊ニ特ニ多クノ利益ヲ家主ニ

與ヘルト云フコトデナイニシテモ、修繕其
ノ他ノ費用ヲ償ヒ得ルダケノ程度ニハ家賃
ヲ上ゲルト云フヤウナ問題ガ起ッテ來ルモ
ノダト思ヒマス、サウ云フヤウナ場合デア
リマスカラ、家ノ賃賃價格モ將來上ガル傾
向ニアルト申サナケレバナラス、サウ云フ
際ニ於テ、現在ノ十八億ノモノヲ十五億ニ
下ゲルト云フコトハ實際出來ルモノデアリ
マセウカドウカ、此ノ邊ヲ私ハ實際問題カ
ラ考ヘテドウカト思フノデアリマスガ、其
ノ邊ノ御見込ヲ伺ッテミタイト思ヒマス

○政府委員(松村義一君) 三收益税ノ課率ノ
標準ヲ超過スルコトニ付キマシテハ、午前
中ニ申上ゲマシタヤウナ色々コナラノ見
込ノ通りデゴザイマシテ、大體從來ノ施設
デアレバ此ノ限度デ經理ヲシテ行ケルモノ
ト思ヒマスガ、是ハ澤山ノ團體ノアルコト
デスカラ、必ズシモ申上ゲタ通りニ行キ兼
ネル場合ガ生ジナイトモ限リマセスガ、併
シ此ノ爲ニ著シク此ノ三税ガ負擔増徴ニナ
ル、増課ニナルト云フコトハ十分注意ヲシ
ナケレバナラスコトデアリマスカラ、只今
仰セノ御趣旨ハ十分監督致シマス際ニ考慮
致シマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ考慮致シ
タイト思ヒマス、ソレカラ家賃賃價格ノ
コトニ付キマシテハ、十四年ノ四月現在デ
申シマス十八億前後ニナッテ居リマスガ、
是ハ實ハ各府縣ノ家屋ノ賃賃價格ナドト云
フモノノ調査ガ區々デアリマス爲ニ、著シ
ク高イ所迄モアルヤウナ状況デゴザイマス
カラ、之ヲ適正ニ調査致シマスル、結局
十五億位ニ落著クモノデナイカト云フ風ニ
考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ大體ノ見込
デアリマシテ、必ズシモソコニ落著クカ
ドウカト云フコトハハッキリ申上ゲ兼ネ

ル譯デアリマスガ、御述ニナリマシタ此ノ
物價、特ニ勞賃等ノ騰貴ニ件ヒマシテ、賃
賃價格ニモソレガ相當影響スルノデハナイ
カト云フヤウナ點ハ誠ニ御尤モデアルト思
ヒマス、是ハ賃賃價格ヲ調査致シマス際ニ
十分其ノ點ハ考慮ノ中ニ入レテ……、是ガ
標準ニナルコトハ無論デアリマスガ、調査
ヲ進メタイト思ヒマスガ、此ノ適正物價ト
ノ關係ニ付キマシテハ、或ハ税ノ方面ニ於
キマシテモ更ニ研究ヲ致シマシテ、何等カ
考慮ヲ廻ラサナケレバナラスト考ヘテ居リ
マス、是ハ只今此處デハハッキリ申上ゲル程度
ニ至ッテ居リマセヌガ、尙十分ニ研究ヲ致シ
タイト思ヒマス

○松村義一君 尙斯ウ云フコトヲ一ツ伺ッ
テ見タイノデアリマス、將來適正物價ヲ決
メルト云フヤウナ立場カラ家賃ヲ幾ラカ殖
ヤスヤウナコトガアルト假定シテ、而モ其
ノ殖ヤスト云フコトハ家主ヲシテ多クノ利
益ヲ得セシメルト云フコトデハナクシテ、
唯修繕等ノ費用ガ上ガッタカラ其ノ費用ヲ
償ハシムルニ止メルト云フ程度家賃ヲ上ゲ
タ、斯ウ云フヤウナ假定ノ下ニ幾ラカデモ
家賃ヲ上ゲタト云フヤウナコトガアッタト
シタ場合ニハ、矢張り賃賃價格ヲ上ゲニ
ナリマスカドウカ、サウ云フ場合ニハ私ハ
賃賃價格ヲ上ゲルベキモノデハナイト思ヒ
マス、是ハ家賃バカリニ限ラズシテ、總テ
住宅ニモ關係ヲ持ツモノデスカラ、サウ云
フヤウナ趣旨ニ於テダケ今度家賃ヲ上ゲル
ト云フノデ直チニ賃賃價格ヲ上ゲルト云フ
コトニナルト非常ニ不合理ニナルト思ヒマ
スガ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(松村義一君) 只今ノ御趣旨デゴ
ザイマスガ、矢張り此ノ修繕費トカ維持費
等ガ相當掛リマス場合ニハ、自然ソレハ賃
賃價格ニ影響致シテ參リマス、從ッテ大體
此ノ賃賃價格ト云フモノハ、現實ノ家賃タ
ルベキ額ニ相應スベキモノデアルト思ヒマ
スノデ、若シ適正價格ニ於テ家賃ノ引上ゲニ
云フヤウニ問題ガ起リマシタ場合ニハ、結局
ソレハ賃賃價格ニ於テモ同様ナ影響ヲ受ケ
ルト云フコトニシナケレバナラスノデヤナ
イカト思ヒマス、但シ御存ジノ通り賃賃價
格ノ調査ハ時期ガゴザイマスカラ、其ノ時
ニ該當致シマセヌ限リハ、變更ハゴザイマ
セヌガ、其ノ時期ニ於テハ、適當ナ變更ヲ
此ノ課税標準タル賃賃價格ニモ加ヘナケレ
バナラストコトニナルドラウト云フヤウニ考
ヘテ居リマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 此ノ家賃ノ
「ストップ」令ガ出テ居ルノデゴザイマスガ、
之ヲ將來ドウシテ行クカト云フ事柄ハ、外ノ
物價其ノ他ト同時ニ考ヘナケレバナラス問
題ドラウト斯ウ思フテ居ルノデアリマスガ、
大體政府ノ方針ト致シマシテハ、既ニモウ
御承知ノ通り、低物價政策ヲ執ッテ居リマス
ノデ、此ノ家賃ノ如キモノヲ上ゲルト云フ
事柄ハ、出來ルダケ停止シタイト斯ウ考ヘサ
居ルノデアリマス、ソコデ今御話ニナリマ
シタ一面カラ見レバ、先ヅ經濟事情カラ家
賃ガ上ルト云フ傾向ガアリマス、又借家デ
アリマスレバ、一面カラ見レバ、年ヲ段々
經ル、其處ニ又色々ナ損害ヲ生ジテ來ル、
修繕ヲシナケレバナラス場合ニナレバ、是
ハドツチカト云ヘバ、家賃ヲ下ゲナケレバナ
ラスト云フコトモ加味サレルト考ヘラ
レバナラスト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ見マ
スルト、之ヲ單純ニ賃賃價格ヲ上ゲテ宜イ

ノカ、下ゲテ宜イノカ、一概ニハ斯ウ結論
ガ得難イノデヤナイガラウカ、下リ加減ノ
所ヘ持ッテ來テ、是ダケノ修繕ヲ加ヘテ、元
ノヤウナモノニ復舊スルト云フ場合モアリ、
又其ノ時代ニ於テ經濟界ノ事情ガ全般的ニ
家賃ヲ上ゲナケレバナラヌト云フヤウナ事
情モアリ、錯雜シタル事情ガアルノデ、ソ
レガ果シテ賃賃價格ニドウ影響スルカト云
フコトハ、各種ノ事情ニ依ッテ御考ヲ願ハナ
ケレバ、決定出來ナイノデハナイガラウカ
ト云フ風ニ、是ハチヨット横合ノ議論ニナリ
マスガ私ハ考ヘマスノデス、大體私ハソ
ナ風ニ思ウテ居ルノデアリマス

○松村義一君 政府委員ノ御説明ノ上ニ大
臣カラノ御説明ヲ伺ツタ譯デゴザイマスガ、
私、是ハ今大臣ノ御話ノヤウニ將來家賃ニ
付テ適正價格ヲ決メルト云フ場合ニ於テハ、
先程私ガ假定ヲシテ申上ゲタヤウナ事情一
本デハ、實際ニ於テハ行カヌカモ知レナイ
ト思フ、併シ適正價格ヲ決メラレル爲ニ家
賃モ幾ラカ動クト云フヤウナコトガアリト
云フト、其ノ方ノ賃賃價格ニ上ゲル、サウ
スルト云フト貸家デナイ、貸家ニ非ザル家
屋ニ付テモ、矢張り賃賃價格ガ上ッテ行クト
云フヤウナ傾向ヲ生ジハセヌカ、ソレハ町
村住民トシテ困ル問題デハナイカト實際斯
ウ思フ、而モ先程私ガ申上ゲヤウニ家ヲ維
持スル上カラ物價ガ高イ爲ニ經費ガ多ク掛
カルト云フ爲ニ之ヲ主眼トシテ家賃デモ上
ゲル、斯ウ云フ場合ニ於テ其ノ影響ガ貸家
ニ非ザル家屋ニ迄及ブト云フコトハ決シテ
合理的デナイ、唯負擔ノ過重ヲ來ス、斯ウ
云フ場合ヲ思フノデスガ、其ノ邊ニ付テ御
考ハドウデスカ

ジマスルガ、是ハ家屋ガ自家用ノ家屋、自
己所有ノ家屋デアリマス場合ト、借家デア
リマス場合トニ家屋稅ノ賦課ガ現在ニ於テ
モチグハグニナッテ居ルノデアリマシテ、只
今御述ニナリマシタ、此ノ賃賃價格ガ、家
賃ノ騰貴ニ伴ッテ自然上ル、ソレガ影響ヲ受
ケテ自分ノ住居デアアル家屋ニモ賃賃家屋ガ
上ル、御述ニナリマシタヤウニ其處ニ不合
理ガアルト思ヒマスガ、是ハ賃賃價格ト云
フモノハ家屋稅ノ標準ト致シマス關係ニ於
キマシテ、ドウモ已ムヲ得ナイノデハナイ
カト思フノデアリマス

○松村義一君 賃賃價格ヲ御決メニナリマ
ス時ハ其ノ家屋ノ維持ニ要スル必要經費ト
云フモノハ差引クノデスカ、差引カヌノデ
スカ、ドツデスカ

○松村義一君 ソレカラ市町村住民稅ニ關
係ヲシテ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ソ
レハ私ハ材料ヲ一ツ頂戴致シタノデスカ、
現在市ニ於テ戸數割ヲ賦課シテ居ル數ガ百
十一アルト云フコトデスカ、今度賦課シテ
居ラス所ニモ、總テ市町村住民稅ガ掛ル譯
デス、市町村住民稅ノ總額ハ約五千萬圓ト
云フ御話デアッタト存ジマスガ、其ノ五千萬
圓ノ中デ、從來戸數割ヲ賦課シテ居ラス市
ニ對シテドノ位課セラレ、ソレカラ從來賦
課シテ居ル市町村ニ對シテ市町村住民稅ガ
ドノ位課セラレルカ、其ノ區別ガ御分リニ
ナレバ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 只今ノ處、此ノ戸
數割ヲ賦課セザル市ト、賦課シテ居ル市町
村トニ分ケマシテノ金額ハ、市町村住民稅
ノ金額ニ付キマシテハ調ベタモノガゴザイ
マセヌ

○松村義一君 簡單ニ御調ガ付キマスカド
ウデスカ

○政府委員(狹間茂君) 是ハ差引イテ居リ
マス、チヨット條文ヲ……是ハ從來地方稅ノ
方ニモ明瞭ナ規定ガゴザイマスガ、今度ハ
家屋稅法デゴザイマスガ、第六條ニ「賃賃價
格ハ貸主ガ公課、修繕費其ノ他家屋ノ維持
ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ之ヲ
賃賃スル場合ニ於テ貸主ノ取得スベキ一年
分ノ金額ニ依リ之ヲ定ム」是ハ私ガ間違ヒ
マシタ、引カナイコトニナッテ居リマス

○松村義一君 差引カナイノデスカ

○政府委員(狹間茂君) 是ハ今回家屋稅ガ
國稅ニナリマス過渡期ノ問題トシマシテ家
屋ノ賃賃價格ヲ補正ヲ致シマス、又十七年
度迄ニハ國ノ方デ此ノ賃賃價格ガ新シク調
査決定ニナリマスノデ、只今御例示ニ相成
リマシタ點ニ付キマシテハ、又色々ノ見方
モアルカト思ヒマスガ、此ノ決定乃至補正
ヲ致シマス際ニ、十分研究ヲ致シマシテ、
斯様ニ致スコトガ適當デアリト認メマス部
門ニ付キマシテハ、十分考究ヲ致シタイト
存ジマス

○政府委員(狹間茂君) 是ハ各地方團體ガ
自分ノ條例デ賦課スルコトニナリマスノ
デ、チヨット見當ガ付キ兼ネルノデゴザイマ
スガ、最高額トシマシテ其ノ團體ガ幾ラ徵
稅スルカト云フコトハ、極ク大體ノ推定デ
ゴザイマスレバ出來ルカモ知レマセヌガ、
大體今調ベテ居リマス極ク大體把ナ調デハ
六大都市ガ千六百萬圓、ソレカラ中小都市
ガ千百萬圓、町村ガ二千三百萬圓、此ノ程
度ノ極ク推定ダケハ持ッテ居リマスガ……

○松村義一君 ソレデマア宜シウゴザイマ
ス、ソレカラ斯ウ云フコトハ御分リニナル
デセウカ、ドウデセウカ、現在ノ戸數割ニ
付テ、之ヲ賦課シテ居ル市ニ於テハ最高額
幾ラ位ノモノデアルカ、ソレカラ町村ニ付

○政府委員(狹間茂君) 誠ニ御尤モダト存

○政府委員(狹間茂君) 誠ニ御尤モダト存

○松村義一君 修理ニ要スル費用ハ……

○松村義一君 差引カナイノデスカ

○松村義一君 是ハ其處迄研究シテ居ナカッ
タノデアリマスガ、差引カナイトスルト、
唯表面ノ形式上ノ理窟カラ言フナラバ、或
ハ政府委員ノ御答辯ノヤウニナリ得ル處ガ
アリマス、ソレハ實際問題トシテ事情ニ合
ハナイコトニナルト思フノデアリマス、サ

○松村義一君 是ハ其處迄研究シテ居ナカッ
タノデアリマスガ、差引カナイトスルト、
唯表面ノ形式上ノ理窟カラ言フナラバ、或
ハ政府委員ノ御答辯ノヤウニナリ得ル處ガ
アリマス、ソレハ實際問題トシテ事情ニ合
ハナイコトニナルト思フノデアリマス、サ

○松村義一君 是ハ其處迄研究シテ居ナカッ
タノデアリマスガ、差引カナイトスルト、
唯表面ノ形式上ノ理窟カラ言フナラバ、或
ハ政府委員ノ御答辯ノヤウニナリ得ル處ガ
アリマス、ソレハ實際問題トシテ事情ニ合
ハナイコトニナルト思フノデアリマス、サ

テハ極クマア農漁山村トモ言フヤウナ村ト、ソレカラマア中位ノ町、モウ少シ大キナ町ト、斯ウ云フ工合ニ三ツ位ニ區別ヲシテ、最高額ハ凡ソドノ位ノモノデアルカ、ソレハ特別ニ或町村ニ非常ナ富豪ガアツテ、特ニ高ク課セラレテ居ルト云フヤウナモノハ別ニシテ、大體ニ於テドノ位ガマア普通高イモノト云フ宜カラウカ、其ノ邊ノ大體御見込ガ御分リニナラヌデセウカ

○政府委員(狹間茂君) 其ノ點ハ個人ノ最高額デゴザイマセウカ

○松村義一君 サウデス

○政府委員(狹間茂君) 一萬圓以上ノモノガ全國ヲ通ジテ三十二人バカリアルト記憶シテ居リマスガ、大體調査ガ付クト思ヒマスカラ、後刻調べマシテ御答ヘ申上ゲマス

○松村義一君 今ノ私ノ一萬圓トカナントカ云フ非常ニ大キナ三十二人トカ云フヤウナサウ云フ稀有ナモノハドツチデモ宜イノデス、唯普通ノ町村ヲ凡ソ三ツ位ニ分チ、ソレカラ市ト四ツ位ニ分ツテ見テ凡ソドノ位ガ普通高イノデアルカト云フ程度デ、特別ニ高イ所ハ、ソレハ例外ミタイナモノデスカラ、ソレハドツチデモ宜イノデスガ、意味ハサウ云フ意味デゴザイマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテ大體ノ見當ヲ後デ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 大體ノ見當ハ付クト思ヒマスカラ、後刻調べマシテ申上ゲマス

○松村義一君 ソレデハ私其ノ御答ヲ伺ッテ後ニ、又質問ヲ致シマス

○委員長(子爵前田利定君) チョット此ノ際一條公爵ニ申上ゲマスガ、先刻御尋ノ負擔ノ調査ガ出來タサウデアリマスカラ、大

藏省ノ政府委員ガ來テ居リマスカラ、御答辯ヲ申上ゲマス

○政府委員(田中豐君) 先程一條公爵カラ御尋ノ表デゴザイマスガ、表ニシマシテ御手許ニ差上ゲマスノハモウ少シ後ニ御願ヒシタイト思ヒマスガ、此處ノ所デ只今申上ゲマス、一萬圓ノ階級ニ於キマシテ申上ゲマス、假ニ其ノ人ノ所得ガ一萬圓ガ田畑ナラ田畑ノミ、配當ナラ配當ノミ、營業ナラ營業ノミノ所得トシテ計算致シテ居リマス、一萬圓ノ階級申上ゲマス、田畑ニ付キマシテハ現在ガ二千三百八十二圓、改正後ニ於キマシテハ二千五百四十一圓、配當ニ付キマシテハ、現在ガ八百一圓、改正後ハ千六百圓、營業ニ付キマシテハ、現在ガ一千四百十六圓、改正後ハ二千十六圓、勤務所得ニ付キマシテハ、現在ガ八百六十九圓、改正後ハ一千十四圓、次ニ三萬圓ノ階級申上ゲマス、田畑ニ付キマシテハ、現在ガ九千九百四十七圓、改正後ハ一萬八百二十三圓、配當ニ付キマシテハ、現在ガ四千三百十四圓、改正後ハ八千圓、營業ニ付キマシテハ、現在ガ八千五百十八圓、改正後ハ九千三百十六圓、勤務ニ付キマシテハ、現在ガ六千二百十八圓、改正後ハ六千七百六十四圓、配當ニ付キマシテハ、次ニ五萬圓ノ階級申上ゲマス、田畑ガ現在デ一萬九千八十四圓、改正後ハ二萬七百五圓、配當ガ現在ハ九千五百四十三圓、改正後ハ一萬六千圓、營業ハ現在ガ一萬六千八百八圓、改正後ハ一萬八千二百十六圓、勤務ハ現在ガ一萬二千八百六十八圓、改正後ハ一萬三千九百六十四圓、モウ一ツ最後ニ十萬圓ノ階級申上ゲマス、田畑ハ現在ガ四萬五千五百三十七圓、改正後ハ四萬八千九百一十一圓、配當ハ現在ガ二

萬四千六百四十九圓、改正後ハ三萬九千五百圓、營業ニ付キマシテハ現在ガ三萬九千五百九十五圓、改正後ハ四萬三千九百六十六圓、勤務ニ付キマシテハ現在ガ三萬三千五百五圓、改正後ハ三萬五千四百六十四圓、大體斯ウ云フ數字デアリマス、是ハ併シナガラ例ヘバ地租ノ附加稅デアルトカ、或ハ營業稅ノ附加稅ナドニ付キマシテハ、各地區々ニ相成デ居リマスノデ、全國平均デ計算致シテ居リマス、ソレカラ現在ニ於キマシテモ戶數割ノ掛カル所ト掛カラナイ所ガアリマスガ、戶數割ハ全然此ノ計算カラ除外致シテ居リマス、改正後ノ數字ニ付テ申上ゲマシタノモ市町村民稅ヲ除外致シテ居リマス、此ノ外ニ市町村民稅ガ幾ラカアルト斯ウ云フコトニ相成リマス、現行法ニ於キマシテモ戶數割ヲ除外シ改正後ニ於キマシテモ市町村民稅ヲ除外シテ居リマス、ソレカラ先程極ク抽象的ニ申上ゲマシタ、大體ノ傾向ト云フモノヲ申上ゲタノデアリマスガ、只今申上ゲタ數字デ大體御了解ヲ得ルト思ヒマスガ、配當ニ付キマシテハ、増加割合ガ非常ニ各階級トモ大キクナッテ居リマス、稅率ニ依ル引上ハ先程申上ゲタ程度デアリマスガ、一方所得ノ計算ニ於テ國稅ニ於テ綜合課稅スル際ニ配當ノ二割控除ト云フ現行制度ヲ廢止シテ、負債ノ利子ヲ控除スルコトニ改メマシタ結果、二割控除ヲ廢シタト云フコトガ強ク響キマシテ、現在ニ較ベテ激増致シテ居ルト云フコトデアリマス、又一方ニ於テ是ガ配當所得ヲ得ルニ必要ナ負債ヲ持ッテ居ル場合ニハ其ノ利子ヲ控除サレルノデ、此ノ課稅ハ相當減額サレルコトニナリマス、負債デ株ヲ持ッテ居ル、借金ヲ以テ株ヲ買ッテ居ル者ニ對シテハ其

ノ借金ノ利子ヲ控除サレルノデ相當此ノ數字ハ變ッテ來ルコトニナリマセウ、前ニ申上ゲマシタ數字ハ何等負債ヲ持タナイ者ニ付テ計算致シタノデアリマス、配當所得ガサウ云フ風ニ致シマシテ激増致シマシタ結果稍、他ノ田畑所得、營業所得ニ從來ヨリモ餘程近付イテ居ル、併シナガラ先程岡部サシカラノ御尋ガアリマシタヤウニ相當低位ニアルト云フ狀態デゴザイマス、尙此ノ數字ハ後デ差上ゲマス

○公爵一條實孝君 私ノ御尋ニ對シテ大變細カイ數字ヲ御示シ下サツタコトヲ感謝致シマス、實ハ私先程概念的ニ御話下サイマシタコトガ私ノ頭ニ不可思議ニ感ジマシタモノデスカラ、具體的ノ數字ヲ伺ツタノデアリマス、先程概念的ニハ五千以上ノ收入ノアル者ガ一割位シカ殖エナイト云フ御答ガアツタ、處方實際伺ッテ見マスト、假ニ今御話ノ數字ノ三萬圓ノ配當所得ガアルモノハ四千三百十四圓カラ八千圓ニ飛上ル、斯ウ云フモノヲ合セテ一割程度ト云フ御説明ハ私ハ甚ダ其ノ時ノ御説明ガ不深切デアルト思フ、私共ガドノ邊ノ收入ガアルカト云フコトハ大體御想像ガ御著キニナルト思ヒマスガ、政府ハ斯様ナ大改正ヲナサツテ、一體現在ノ收入デ稅金其ノ他ガ支拂ヘル者ト支拂ヘナイ者トガ出來ルト云フコトヲ御考ニナッテ居リマスデスカ、ドウナンデスカ、私ハ兒玉內務大臣ハ斯ウ云フコトハ御精通ノコトト思ヒマスカラ一體ドウ云フモノガ段段出來テ來ル、サウシテソレガドウ云フ風ナ心理的作用ヲ起スカ、先程私ハチョット簡單ニ申シマシタガ、政府ハ物ヲ取ツテ心ヲ離スト云フヤウナコトヲナサツテハ容易ナラスコトデアル、簡單ナ言葉デ申シマスト云フト、モ

ウ今迄二萬モ三萬モ納メテ居ル收入ガアル人
間ハ私ハ國家ノ中堅分子デアラウト思フ、相當
長イ間御國ニ御奉公ラシテ居ル連中デヤナイ
カ、ソレガ國家ノ非常時トハ言ヒナガラ收
入ヲ以テ税金ノ總テガ拂ヘナクナル、或ハ
ソレニ近クナルト云フヤウナ者ハ私ハ相當
ニ起ツテ來ルダラウト思ヒマス、要スルニ配
當ヲ取ツテ來テソレヲ政府ノ方ニ御廻シス
レバ宜イト云フヤウナ人間ガ相當出來テ來
マスト云フト、政府ハソレニ依ツテ金ハ得
ラレマセウガ、札束ハ得ラレマセウケレド
モ、ソレハ恐ルベキ人心ノ離反ト云フコト
ガ起ツテ來ヤシナイカト云フコトニ付テ深
キ御考慮ヲ願ツテ居ルカドウカ、私ハ此ノ點
ニ付テ折角大臣ガ御出席デアリマスカラ伺
ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 御尤モノ御
尋ト存ジマス、只今御話ニナリマシタル通
リニ、政府ハ金ヲ取りマシテモ人ノ心ヲ捉
ヘナケレバ此ノ時局ヲ突破ハ出來ナイノデ
アリマス、而シテ今回ノ増稅ニ付キマシテ、
果シテサウ云フ結果ヲ來スデアラウカト云
フ御心配デアアルノデアリマスルケレドモ、
單純ニ考ヘマシテ、國民ノ負擔ハ非常ニ重
クナルト云フ事柄ハ是ハ其ノ通リト思ハナ
ケレバナリマセウガ、大體ニ於キマシテ、
國民ノ所得ノ増加ノ點カラ思ヒマシテモ、
今回ノ増稅ガ國民ノ負擔ニ堪ヘズシテ、人心
ガ離レテ行クト云フ程度ニ迄ハ及ンデ居ナ
イモノト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ
一面ニ於テ前線ニ於キマシテハ、言葉ハ惡イ
カ知リマセウガ、所謂血稅ナルモノヲ拂ツテ
此ノ時局ニ對應シテ居ルノデアリマス、從
ヒマシテ之ト對應致シマシテ、銃後ニ於キ
マスル國民モ出來ルダケノ負擔ヲ致シマシ

テ、サウシテ前線ト銃後トガ一體トナツデ之
ヲ切開シテ行クト云フ決心ハドウシテモ必
要ナコトト思フノデアリマス、其ノ意味合
ニ於キマシテ今回ノ稅制ガ編ミ出サレタノ
デアリマスノデ、一ニ已ムヲ得ストシテノ
増稅デアアルノデアリマス、私ハ今一條公算
ガ言ハレルヤウナ風ナ心配ハ、無論政府ト
シテシナケレバナラスノデアリマスケレド
モ、現實ノ問題ト致シマシテ此ノ稅制ガ行
ハレマシテモ、只今御話ニナリマシタヤウ
ナ極端ナル結果ヲ來スコトハ萬一ナイモノ
ト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○柴田兵一(郎君) 私ハ地方團體ノ負擔輕減
ニ付テチヨット御伺ヒ致シマス

○委員長(子爵前田利定君) チヨット申上
ガマスガ、大藏省ノ政府委員ニ差向キ御用
ハゴザイマセウカ、……柴田君宜シウゴザ
イマス

○柴田兵一(郎君) 私ハ地方團體ノ負擔輕減
ニ付テチヨット御伺ヒ致シマス、今回ノ分賦
ニ付テハ地方團體ノ財政調整上重大ナル效
果ヲ來スコトハ申ス迄モナイノデアリマス
ガ、尙團體内ノ經理ノ合理化、經費節約等
ヲ圖ルコトモ亦一方策デアルト考ヘラレル
ノデアリマス、否ハ納稅精神ノ強化ヲ期
スル上ニ於テモ必要デアルト思ハレルノ
デアリマス、從ツテ之ガ稅制改善ヲシテ行ク
コトハ今日ノ場合緊要事デアルト思ハレル
ノデアリマス、此ノ方面ノ對策ニ付テ政
府ガ考慮セラレテ居リマスカドウカ、尙
以上ノ見地カラ全國若シクハ道府縣内ノ市
町村ガ打ツテ一丸トナル共濟制度ノヤウナ
モノヲ組織シテ、例ヘバ公有物件ニ對スル
火災保險事業ノヤウナコトヲ指導シ、實
行セントスル場合ニ內務省ニ於テ之ヲ放任

セラル、御意思アリヤ否ヤ、此ノ點ニ付テ
御意向ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 此ノ稅制ガ改正ニ
ナリマスル結果ト致シマシテ各地方團體ノ
財政ノ經理狀況ニ付キマシテハ貧弱ナル團
體等ニ於テハ相當ノ變化ガ來ルコトト思ツテ
居リマス、此ノ際ニ於キマシテ財政ノ監督
ヲ如何ニスルカト云フ問題ハ大切ナ問題デ
アルト思フノデアリマシテ、假ニ貧弱ナル
團體ガ急ニ此ノ改正ニ依リマシテ相當餘裕
アル財源ヲ得タト云フ場合ニ於キマシテ、
之ヲ其ノ儘ニ放任シマシテ必要以上ノ施設、
經營ヲ致スト云フヤウナコトハ是ハ避ケナ
ケレバナラナイト思フノデアリマス、已ム
ヲ得ザル施設デアリマシテ、經費ノ關係上
今迄遷延ヲシテ居タト云フヤウナモノハ此
ノ機會ニ於テ充實スル必要モアルト思ヒマ
スガ、徒ニ經費ノ膨脹ヲ來スト云フコトハ
避ケナケレバナラスト思ヒマス、先ヅ斯様
ナ場合ニハ地方團體ノ財政經理トシテハ、
例ヘバ舊債ノ償還ニ充テサセマシテ、他日
ノ不時ノ必要ノ場合ニ於ケル餘力ヲ蓄ヘサ
セルト云フヤウナ手段、方法ヲ講ズルコト
ニスルノガ最モ適當デハナイカト思フノデ
アリマシテ、是ハ各地方團體ニ於キマシテ
其ノ事情ヲ篤ト調ベマシタ上ニ實際ノ監督
ヲ致シタイト思フノデアリマス、就キマシ
テハ今回ノ稅制改正ヲ機會ニ地方廳ニ必要
ナル職員ヲ置キ、又本省ニモ必要ナル職員ヲ
置キマシテ、所謂監督機構ヲ充實、整備ス
ルコトニ致シテ居リマス、其ノ監督機構ニ
依ツテ各地方團體ノ財政經理ノ狀況ヲ十分
ニ監督ヲ致シマシテ、是正スベキモノハ是
正シ、實情ニ即シタ合理的ナ財政經理ヲ
致サセタイト思フノデアリマシテ、此ノ經

費ニ付キマシテハ既ニ御協賛ヲ仰イデ居リ
マスノデ、取急イデ其ノ機構ヲ充實シマシ
テ、御述ニナリマシタヤウナ地方團體ノ行
財政ノ合理的ナ運用ヲ十分促進スルヤウニ
致シタイト考ヘテ居リマス、尙各團體ノ營
造物等ニ對スル自家保險ノ問題ニ付テハ從
來隨分色々研究ヲサレタノデアリマスガ、
ドウモ其ノ經理運用等ガウマク參ラナイヤ
ウナ事情ガアリマスノデ、今日迄マダ具體
化致シテ居リマセウガ、是ハ矢張り將來ニ
於ケル公營造物ノ自家保險ノ問題トシマシ
テ研究ヲ致シタイト思フテ居リマス

○柴田兵一(郎君) 只今ノ御説明ニ依リマシ
テ大體了解致シマシタガ、惟フニ今回ノ分
賦稅ノ交付ニ依リマシテ相當町村ニ財政上
ノ餘裕ヲ生ズルト思ヒマス、從ツテドウカス
ルト放漫ニ流レ易イ傾向ニ陥ルノデハナカ
ラウカト云フコトヲ慎レモノデアリマス、
從ツテ實ハ先刻アノヤウナ質問ヲ申上ゲタ
譯デスガ、ドウゾ今後十分御留意ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、尙モウ一ツ御伺ヒ致シタ
イノハ、御承知ノ通り昭和十六年度ヨリ從
來ノ義務教育ガ二箇年延長ニナリマシテ國
民學校ガ出來ルノデアリマスガ、此ノ場合
政府ハ之ニ要スル校舍ノ増築設備等ニ對シ
テ補助又ハ助成ノ途ヲ講ゼラレル御意思ガ
アルヤ否ヤト云フコトニ付テ御伺ヒ致シマ
ス

○政府委員(狹間茂君) 只今御述ニナリマ
シタ國民學校ノ校舍ノ問題ニ付キマシテハ、
教育ノ方ノ關係デアリマシテ、文部省ノ方
デ考究スルコトトナルト思ヒマスガ、恐ラ
ク助成ニ付テハ考慮致シテ居ナイノデヤナ
イカト思フテ居リマス、是ハハッキリ致シマ
セウ、ソレカラ校舍ノ増築ノ問題ニ付キマシ

テハ御存ジノヤウナ今日ノ物資ノ状況デゴ
ザイマスシ、又地方債ニ付キマシテモ時局
下十分抑制ヲ致サナケレバナラナイノデア
リマシテ、成ルベク校舍ニ付キマシテハ既
設ノ校舍ノ利用ニ依ツテヤツテ行クト云フ方
針デ進マザルヲ得ナイノデハナイカト考ヘ
テ居リマス

○柴田兵一郎君 申ス迄モナク國民教育ハ
國家事業デアリマスカラ、昭和十六年度ニ
於テ二箇年ダケ延長ニナルト云フコトニナ
リマスレバ當然校舍ノ増築ヤ設備ノ増設
ヤラフ必要ニナツテ來ルノデアリマス、其ノ
際ニ町村ガ財源ヲドノ方面ニ求メレバ宜シ
イノデアリマスカ、サウシタ國家事業ニ對
シテ町村自體ガドノ方面カラ其ノ資金ヲ求
メレバ宜イノデスカ、御示ヲ願ヒタイ

○政府委員(揆問茂君) 此ノ點私共ドウモ
ハツキリ致サナイノデアリマスカ、先程私青
年學校ノ問題ダト思ヒマシタガ、國民學校
ノコトニ付キマシテハハツキリトシタ話ヲ
伺ツテ居リマセヌガ、或ハ校舍設備ノ増築等
ニ付キマシテハ國庫ノ補助ノ問題ヲ文部省
當局ニ於テ考慮シテ居ルカトモ存ジマスカ、
ハツキリトシタコトヲ存ジマセヌノデ、或ハ
後刻其ノ方針ニ付キマシテハ文部當局ト打
合フ致シマシタ上デ御答ヘ致シテモ宜シイ
カト存ジマス、尙一般ノ問題トシマシテ、
市町村ガ此ノ校舍ノ増築ヲ致シマス場合ニ
年限ノ延長ニ依ツテドウシテモヤリ線ガ付
カナイト云フヤウナ場合ニハ是ハ増築、改
築已ムヲ得ナイコトト存ズルノデアリマス、
デス様ナ場合ニ於キマシテハ如何ナル方面
ニ財源ヲ求メルカト申シマスレバ、結局市
町村ト致シマシテハ起債ノ方法ニ依ラザル
ヲ得ナイノデアリマシテ、資金並物資ノ需

給ノ關係ニ於テ許ス限度ニ於キマシテハ斯
カル起債モ承認ヲスルト云フコトニ相成ル
ガラウト存ジマス

○柴田兵一郎君 ソレデハドウゾ關係御當
局ト御打合ノ上ニ明瞭ナル御答辯ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、モウ一ツ伺ヒタイト思ヒマ
ス、ソレハ今回ノ市町村民稅ノ賦課ノ對象
トナルモノニ法人ト云フモノガ入ッタノデ
アリマスカ、此ノ法人ト云フノハ國稅ノ今
回ノ特別法人稅ノ賦課セラル、法人ニ對シ
テモ賦課出來ルノデセウカ、ドウデスカ

○政府委員(揆問茂君) 制度ノ建前ト致シ
マシテハ此ノ中ニ包含セラレテ居ル譯デ
アリマス、唯地方團體ハ其ノ決議ニ依リマ
シテ地方稅ノ減免ヲスルコトハ出來マス、
ソレデ減免致シマス場合ハ別デゴザイマス
ガ、制度ト致シマシテハ全部包含致シテ居
リマス

○柴田兵一郎君 是デ私ノ質問ヲ打切りマ
ス

○堀切善次郎君 家屋稅ハ是迄場所ニ依ッ
テ累進率ヲ掛ケテ居リマスカ、御承知ノヤ
ウニ東京邊リデヤツテ居ル譯デアリマスカ、
ア、云フヤリ方ハ今度ノ改正ニ依ッテモ矢
張り出來ルコトニナリマスカ、如何デアリ
マスカ

○政府委員(揆問茂君) 只今御述ニナリマ
シタ累進ハ、多少戸數割代リト云フヤウナ
關係モアルト思フノデス、累進率ノ問題ハ
經過的ノ措置トシマシテハ之ヲ認メザルヲ
得ナイト思ヒマスガ、稅法ノ建前トシマシ
テハ累進課稅ハ認メナイ積リデ居リマス
○堀切善次郎君 此ノ法文ヲ見マストチョッ
ト根據ガナイヤウナデスカ、經過ノ方法
トシテモ其ノ根據ガ何處ニ置カレルコトニ

ナリマセウカ

○政府委員(揆問茂君) 是ハ結局監督ノ方
針ノ問題トナルト思フノデアリマスカ、條
文ノ根據ト致シマシテハ、地方稅法ノ十三
條第二項「地方團體ハ公益上其ノ他ノ事由
ニ因リ必要アルトキハ不均一ノ課稅ヲ爲ス
コトヲ得」之ニ依リマシテ監督ニ依リマシ
テ措置セラレテ參リマス

○堀切善次郎君 此ノ分與稅法ノ規定ヲ見
マスト、附加稅ヲ課スル場合ニハ同ジ課率
デナクチャナラナイト云フヤウナ規定ダケ
特別ノ規定ガアリマセスカラ、サウ云フ
途ハナイカノヤウニ考ヘラレタノデスカ、
今ノ十三條ノ二項ノ規定ハ、サウ云フ場合
ニモ働クモノナンデセウカ、地方稅法……

○政府委員(揆問茂君) 只今ノ御尋ハ地方
稅法ノ五十九條デアルト存ジマス

○堀切善次郎君 ア、サウデスカ

○政府委員(揆問茂君) 是ハ各稅間ノ賦課
率ヲ同一トスルト云フノデゴザイマシテ、
同一ノ稅デ不均一ノ課稅ヲ致シマス場合ニ
ハ、只今ノ家屋稅等ニ付キマシテ、十三條
ノ第二項ヲ適用スルコトガ出來ルヤウニ考
ヘテ居リマス

○堀切善次郎君 若シサウデアリマスレバ、
私は是迄ノヤリ方ガ大層宜イヤリ方デハナ
イカト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ル、實ハアノ
ヤリ方ハ私が東京市ニ關係シテ居リマシタ
時ニ始メタモノナンデスカ、大都會ノヤウ
ナ家屋ノ大小ガ非常ニアッデ、殊ニ大キナ家
屋ノアルヤウナ場合ニ於テハ、ア、云フ累
進率ノヤウナヤリ方ヲヤルコトガ非常ニ適
正ナ方法デヤナイカト云フ意見ヲ持ツテ居
リマスカ、其ノ點ヲ參考トシテ戴キタイト
云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラモ

ウ一ツ、三收益稅ニ對スル附加稅ガ府縣ノ
方ハ一律ニ百分ノ百、ソレカラ市町村ノ方
ハ百分ノ二百ト云フコトニナツテ居リマシ
テ、府縣市町村ノ事情ニ依ツテノ斟酌ナリ
變更ト云フモノハ一ツモナイ、府縣ハ皆府
縣ト市町村ト、詰リ同額ヲ取ルト云フコト
ニナツテ居リマスカ、東京邊リニ付テ考ヘテ
見マスト、東京トカ或ハ大阪ノヤウナ非常
ナ大キナ都會ヲ含ンデ居ル所ニ於キマシテ
ハ、寧ロ府縣ノ方ト市ノ方トデ同ジニ取ツテ
ハ市ノ方ノ財源ガ足りナイデ府縣ノ方ノ財
源ニ餘裕ヲ生ズルノデヤナイカ、寧ロ市ノ
方ニ餘計ニシテ府縣ノ方ニ少クシテ宜イノ
デハナカラウカ、場合ニ依ツテ、是迄モ殊
ニ所得稅ノ附加稅ノ關係カラサウデアッタ
ノデスカ、東京府アタリガ左程必要ノナイ
場合ニ財源ガ餘計アリマシテ、或ハ大阪府
ニ付テモ矢張り同ジ、サウシテ非常ニ財政
事情ノ多イ市ノ方ニハ、ソレガ逼迫スルト
云フヤウナ關係ガ、府縣ノ事情ニ依ツテ、府
縣ト都市トノ關係デ、隨分各府縣ノ間デ色
色事情ガ違ヒハシナイカト思フノデスカ、
ソレヲ原案デ見ルト、皆一律デ府縣ト市町
村ト同ジ割合ニナツテ居リマスカ、其ノ點ニ
付テハ色々根據ノアルコトト存ジマスカ、
一方ニ於テ意外ナ餘裕ヲ生ジ、一方ニ於テ
足リナイト云フヤウナコトハ起ラナイモノ
デアリマセウカ、御見込ヲ伺ヒタイト思ヒ
マス

○政府委員(揆問茂君) 誠ニ御尤モナ御意
見デゴザイマスガ、一應當局トシテ此ノ稅制
ヲ立テマシタ場合、左様ナ點ハ考慮致シテ
見タノデアリマス、從ヒマシテ見方ト致シ
マシテハ、今度ノ稅制ハ從來ノ稅制ヲ先ヅ
一應白紙ノ狀態ニ返シマシテ、サウシテ稅

制全體ヲ根本的ニ改組シテ斯ウ云フ制度ヲ立テマシタノデ、稅收入全體トシテ考ヘテ見マスと云フト、府縣ト都市トノ間ノ財源ノ分配ハ、大體跛行的ニナラナイヤウニ出來テ居ルト思フノデアリマス、是ハ推算ノ結果大體サウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマス、又一面カラ考ヘテ見マシテ、都市トソレヲ包含シテ居リマス府縣トノ間ニ於キマシテ、基本稅制ノ標準ト課率ヲ二三ニスルト云フコトハ、是ハ稅制ノ建前ノ全般ノ問題カラ考ヘマシテ如何ナモノデアラウカト思フノデアリマス、併シナガラ大都市ヲ包含シテ居リマス府縣ト、其ノ市トノ關係ニ於キマシテ、或ハ事業ノ分配等ノ關係カラシテ、御説ノヤウナ事情ガ絕對ニナイトハ保證出來ナイト思フノデアリマス、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、或ハ實際ノ賦課率ニ於キマシテ、適當ニ決定ヲ致スト云フ手段ヲ執ラナケレバナラナイカト思ヒマス、又算出ノ方面カラ見マシテモ、六大都市ト、其ノ所在府縣トノ間ノ不合理ナル點ヲ出來得ル限リ是正スル必要モ起ッテ來ルノデハナイカト思ヒマス、結局此ノ問題ハ東京都制トカ、或ハ特別市制ト云フヤウナコトニ關係ヲ持ッテ來ルト思フノデアリマスガ、其處ニ至リマス前ノ措置トシマシテハ、只今申シマシタヤウナ形ニ於テ、實際ニ即應セシメタイト思ッテ居ルノデアリマス、例ヘバ自動車稅等ニ付キマシテハ、特ニ必要ガアリマス場合ニハ、財源ノ附與等ノ考慮ヲ致ス必要モアラウカト思ヒマス、又都市計畫稅ニ付キマシテハ、御覽ノ通り非常ニ課率ヲ、此ノ六大都市ニ付テハ率ヲ高メマシテ、實際ノ事情ニ即應スルヤウニ致シテ參ッテ居ルノデアリマス

○堀切善次郎君 都制ナリ此ノ特別市制ノ出來マス迄ノ間、今ノヤウナコトヲ非常ニ心配致シマスガ、ドウゾ只今ノヤウナ御趣旨ニ依ッテ、其ノ調整ヲ十分ニ圖ッテ戴キタイト思ヒマス、從來ニ於キマシテモ御承知ノヤウニ東京府ノ方ハ非常ニ財源ガ豐富ニアッテ不慮ノ事業ト思ハレルヤウナモノモ可ナリ手ガ伸ビ、場合ニ依ッテハ時機デナイト思ハレルヤウナ時ニ減稅ヲスルト云フヤウナコトモアツタヤウデアリマスガ、ソレニ包含サレテ居ル市ノ方デハ、非常ニ財源ガ逼迫シテ居ルト云フヤウナ事情モ御承知ノ通りデアリマス、ドウゾ只今ノヤウナ趣意ニ依ッテ十分ノ調整ヲ圖ッテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ一ツ根本的ナコトニ付キマシテチヨット御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマスガ、三收益稅ガ性質ニ於テハ地方稅デアリナガラ國稅ノ形ヲ取ラレ、ソレニ對シテ附加稅ト云フ制度ヲ取ラレマシタノハ、地方稅トシテモ初メカラ之ヲ地方稅トシテ行クノガ寧ろ本筋デアル、ソレデモ良イ譯デアリマスガ、其ノコトニ付キマシテ、既ニ御答辯ガアリマシテ、負擔ノ均衡ノ上カラトカ或ハ分與稅ノ關係カラ、色々ノ點カラ一部ヲ國稅トシテ置クコトガ必要ダト云フ御説明モ一應了承致シマシタ、差當リノ處、御答辯ノヤウニ國稅トシテ行ク必要ガアルカト思ヒマスガ、ドウモ是ハ本來ノ性質カラ考ヘマシテ又此ノ自治ノ精神カラ考ヘテ見マシテモ、又自治ノ振興ノ上カラ考ヘマシテモ、之ヲ矢張り本來ノ地方稅全部ヲ地方ニ取ラシテ地方稅トシテヤラシテ行クコトガ理想デヤナイカト思ヒマス、差當リ之ヲ國稅トシテ置ク必要ガアルト致シマシテモ、一應其ノ整理ガ付イタ何

年カ後ニハ此ノ國稅デアルノヲ全部之ヲ地方稅ニ、純粹ノ地方稅ニ直スト云フコトヲ考ヘルベキデハナイカト思フノデアリマスガ、是ハ先ノコトニナリマスガ、其ノ點ニ付テノ御心構ハ如何デアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(扶間茂君) 今度還付稅、附加稅ノ併用ト致シマシテ地租、家屋稅、營業稅ヲ取ルコトニ致シマシタ理由ハ、先日來申上ゲタ通りデゴザイマス、之ヲ純粹ノ地方ノ獨立稅ト致シマスカ、或ハ今回ノヤウニスルカト云フコトニ付キマシテハ、御存ジノ通りマア隨分昔カラ議論ガアル所デゴザイマシテ、今度ノ稅制調査會ニ之ヲ付議致シマス際ニモ非常ニマア研究ヲ致シマシタ結果、此ノ問題ダケハズツト後ニ至リマシテ政府ノ方針ヲ決定シテ斯ウ云フ制度ニスルコトニ致シマシテ諸問ヲシタヤウナコトデアリマス、ソレデハ國稅トシテ殘シマス理由ハモウ此處デ申上ゲマセヌデスガ、矢張り此ノ賃賃價格ノ調査等ノ問題カラ致シマシテ、之ヲ地方ニ委セルト云フコトハドウシテモ將來負擔ノ均衡ヲ失スル因ニ相成リマスシ、同時ニ國貨賃價格ヲ調査決定シ、サウシテソレヲ地方ガ用ヒマシテ獨立稅ヲ賦課スルト云フコトニナリマスレバ、此ノ制度ト全ク形ガ變ラナイ、實質ノ變ラナイコトニナルト思フノデアリマス、結局ハ財源トシテ地方ニ全部ヲ與ヘテ居ルト云フコトニ非常ニ大キナ意義ガアルノデハナイカト思ヒマスシ、殊ニ地租ニ付キマシテハ御存ジノヤウニ稅ノ沿革等ニ付キマシテ相當ムツカシイ問題ガゴザイマスシ、一面地籍事務等ノ關係モアリマスノデ、遠イ將來ハマア別ト致シマシテ、目下ノ所ニ

於キマシテハ政府トシマシテハ矢張り還付稅、附加稅ノ併用ヲ進行シテ參リタイト思ッテ居ルノデアリマス

○堀切善次郎君 段々ト御説モアリマスガ、賃賃價格ノ調査等ガ一通リ濟ミマシテ、各府縣ノ間ニ不均衡ナコトガナイヤウニ根柢ガ出來マシタ際ニハ、之ヲ地方稅ニ直サレルト云フコトヲ御考ニナルノガマア當然ノ筋デヤナカラウカト思ヒマスガ、是ハズツト先ノコトニナリマスカラ、唯サウ云フコトヲ希望ダケ致シテ置キマシテ、私ノ質問ハ終リマス

○白根竹介君 都市計畫稅ニ付テチヨット伺ヒマスガ、都市計畫稅ハ此ノ度ハ地租割百分ノ二十五以內、元ノ法律ニ依ルト百分ノ九以內、ソレカラ家屋稅割ハ十分ノ四デスカラ百分ノ四十取レル所ヲ今度ハ百分ノ二十五、營業稅ガ是ハマア大體似タリ寄ッカリデスガ、百分ノ二十二ガ百分ノ二十五、地租割ニ付テ非常ニ高クナッテ限度度ヲ高メタノハドウ云フ譯デゴザイマセウカ

○政府委員(扶間茂君) 今度ノアノ國稅ノ元ノ課率ガ今度ハ低クナリマシタカラ從ッテ上ガル譯デアリマシテ、大體其ノ總體ノ價額トシマシテハ變リハナイノデアリマス、申シマスガ、府縣ニ付キマシテハ從來ノ半分ニナリ、其ノ半額ガ市町村ニ委讓サレマシテ、府縣市町村ヲ通ジテ見マスト從前ト大體同額デアリマシテ、之ヲ賦課率ト致シマスト斯ウ云フ形ニナル譯デゴザイマス

○白根竹介君 ソレカラ產業組合ニ付テ國稅ノ方ハ何カ掛ルヤウニナリマシタガ、地方稅ニハ何モ影響ハアリマセスカ、產業組合ノ課稅……

○政府委員(扶間茂君) 產業組合課稅ノ問

題ハ二ツノ方面ノ問題ガアルト思ヒマス、
一ツハ所謂法人税ト云フ意味デ配付税ノ關
係ト、ソレカラ産業組合自身ニ對スル課税
ノ問題ガアリマスガ、特別法人税ハ配付税
ノ財源ニハナツテ居リマセヌノデハ別段
關係ハゴザイマセヌ、ソレカラ産業組合ニ
對シテ一ツノ課税ヲスルト云フ問題ニ付キ
マシテハハ從來地方團體ノ自由デ、免稅
スルモノハ地方團體デ自由ニ免稅スルヤウ
ニナツテ居リマス、掛ケマスモノハ掛ケテ宜
シイ譯デアリマス、獨立税ニ付キマシテハ
從前ト改正後トニ於キマシテ別段變リハナ
イト思ヒマス

○白根竹介君 サウスルト地方税ノ規則ノ
第十二條「國、地方團體其ノ他勅令ヲ以
テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公共用
ニ供スル家屋又ハ物件」ト云フ其ノ解釋ニ
ハ別ニ影響ハナイ譯デアリマスカ

○政府委員(狹間茂君) ソレハ從來ハ市
制、町村制、府縣制等ニ於キマシテ國、地
方團體、國、其ノ他ノ公共團體ト云フ規定
ニナツテ居ルト思ヒマス、併シ産業組合ハ公
共團體デゴザイマセヌノデ現行法ト改正法
トノ間ニ別段産業組合ニ關スル限リ變更ハ
ナイ譯デゴザイマス

○白根竹介君 チョットサッキ申シマシタ都
市計畫税ノコトハチョット分ラナイノデス
ガ、七十五條ハ地租割地租ノ百分ノ二十五
以內、ソレカラ舊法、舊ノ都市計畫法第八
條ニ依ツテ見マス、地租割ハ地租ノ百分ノ
九以內、大分違フヤウデスガ、地租其ノモ
ノガ變ツタノデスカナ

○政府委員(三好重夫君) 都市計畫税ノ問
題デゴザイマスガ、是ハ各税ヲ通ジテ見マ
スト其ノ税額ノ負擔ニ於キマシテハ先程局

長ガ御答ヘ申上ゲマシタ通り從前ト改正後
ト變リハゴザイマセヌ、併シナガラ各税別ニ
稅種毎ニ見マス、ト云フト多少ノ異動ガアル
ノデゴザイマス、仰セニナリマシタ地租割
ニ付テ見マス、ト云フト現行制度ニ於キマシ
テハ賃賃價格百分ノ〇・六八四ガ賃賃價格
百分ノ一・八六ト云フコトニ相成ルノデア
リマス、相當上ツテ參リマス、ソレカラ營業
稅割ニ於キマシテハ現行制度デハ個人ニ付
テ見マス、ト云フト純益百分ノ一・〇四六デゴザイ
マシタモノガ、同ジク一・二九五、少シ上
ルノデアリマス、家屋稅割ニ於キマシテ現行
制度ニ於キマシテハ、賃賃價格百分ノ二・三
五二デゴザイマシタモノガ同ジク一・六二
七五ト、少シ下ツテ參リマス、此ノ各税ニ付
キマシテ、或ハ上ゲ、或ハ下ツテ居リマス
ノハ、從前ノ率ガソレ、稅毎ニ違ツテ居
リマス、ト云フ、不合理デアルト云フノデ、今
回統一ヲ致シマシタ影響ノ現レデゴザイマ
ス

○松村義一君 先程戶數割ノ最高額ハドン
ナモノカト云フコトニ付テ御尋致シマシテ、
マダ御答ヲ得テ居リマセヌガ、其ノ前ニ私
ニ能ク表ヲ見タラ宜カラウト云フコトヲ御
注意下サツタンデ、今拜見ヲシタノデアリマ
スガ、是デ相當ニ能ク分ルヤウデアリマス、
サウ致シマス、ト云フ、私先程御尋ヲシタコト
ヲ變ヘマシテ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタ
方ガ一番宜イト思フ、市ノ戶數割ニ付キマ
シテハ、各市トモ明瞭ニ出テ居ルヤウデス、
町村ニ付キマシテハ最高最低トシテ、一戶
當リノ價格ガ出テ居リマセヌヤウデス、ソレ
デ市ニ付テ聽クト一番宜イト思フノデアリ
マスガ、是等ノ市ニ付テ最モ高イ戶數割ヲ
負擔シテ居ル者ハ、何戶當リ位ヲ負擔ヲシ

テ居ルカ、ソレヲ大體ノ情況ヲ伺ヒタイ、
町村ニ付キマシテモ矢張り高イ人ハ何戶當
リ位ヲ負擔ヲシテ居ルノデアルト云フコ
トヲ御尋ネシテ見タラ一層宜イト思ヒマス

○政府委員(三好重夫君) 只今ノ御話ノ調
ベデゴザイマスガ、各市別ニ調査致シマシ
タモノガ實ハゴザイマセヌノデ、甚ダ恐
入リマスガ、御手許ニ差上ゲテ居リマス、地
方稅ニ關スル參考計表ト申シマス、印刷物
ノ五十三頁ニ、戶數割負擔額ノ階級別ノ調
査全國的ノモノヲ掲ゲテ置キマシタノデ、
此ノ程度ノ調査シカ、只今ノ所ゴザイマセ
スノデ、御許ヲ得マシナラ幸ヒデアリマ
ス

○青木周三君 是ハ私ハ、實ハ具體的ノ數
字ガドウシテモ分ラナイノデ、チョット伺ヒ
タインデスガ、極大雜把ヲ話デ宜イノデ
スガ、從來地方デ工場トカ大工場ノ招致ト
カ、近來競ウテヤリツ、アル、ソレハ所
得稅、營業收益稅ノ如キ彈力性ノアル附加
稅ガ將來増加スル樂シミヲ以テ、土地トカ
工場ニ要スル所ノ水トカ云フモノヲ便宜ヲ
與ヘテ招致シツ、アル、今回其ノ中所得
稅附加稅ハ國稅トセラレテ國ニ行ク、ソレ
ニ代ルモノニ家屋稅、地租ト云フモノヲ以
テセラレルト云フコトニナツテ居ルト、例
ハ工場カラ上ガル所ノ收入ガ、從來ノニ比
シテ減少シハシナイカト云フコトヲ心配シ
テ居ル、其ノ點ハドウナツテ居ルノデスカ
ナ

○政府委員(狹間茂君) ソレハ所得稅附加
稅ハ取レナクナリマス、營業稅ガ
全部今度國稅ノ分モ入ツテ參リマスノデ、其
ノ自然增收ト云フモノガ相當多額ニ入ルダ
ラウト思ツテ居リマス、其ノ點デ具體的ニ今
如何ナル數字ガ出ルカト云フコトハ、是ハ

各箇ノ工場等ニ付テ申上ゲナケレバナリマ
セヌケレドモ、最近ノ生産擴充ノ情況カラ
見マス、營業稅ガ非常ニ多額ニ入ルノデ
ハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○青木周三君 其ノ點私共實ハ能ク分ラナ
イノデ、斯ウ云フ所トカ、或ハ稅制改革委
員會トカ云フ所デ、質問ガ出來ララウト
思ツタ、案外質問ガ出テ居リマセヌシ、ソ
レカラ私共ノ部下ノ者ヲ調フ聽イテ見テモ、
サウ心配ヲシテ居ナイヤウデス、ケレドモ
ガ、ソレガ若シモ從來ノ收入ト同額以上ノ
收入ガ現在ニ於テアルト云フダケデハ、或
ハ心配ガ解消シナイデヤナイカ知ラスト云
フコトモ憂慮シテ居ルノデスガ、從來ハ所
得稅ノ上ルコトヲ見越シテ、例ヘバ紡績會
社ヲ建テルト云ヘバ、土地モ提供スル、水
モ提供スル、家宅住宅モ提供スルト云フヤ
ウニ總テノ便宜ヲ圖ツテヤツテ居ツタノガ、今
度所得稅ヲ全部取上ゲテ、今ノ政府委員ノ
御説明ノ通りニ、收益稅デ十分補ヒガ附ク
ヤウデアアルナラバ、ソレハモウ論ノナイ話
デ、私ノ心配ハ一時ニ解消スルノデスガ、
サウ云フコトナシニ、何ボカ從來ノ如キ樂
シミハ少イト云フコトニナツテ、工場招致ト
云フモノガ案外利益デナイト云フヤウナコ
トガ、市町村ニ於テ考ヘラレラヤウニナリ、
工場ノ來ルコトヲ餘リ歡迎シナイト云フヤ
ウナコトニナレバ、自然國家ノ産業ノ萎靡
ニナルダラウト思ツテ、其ノコトヲ心配シテ
居ル、サウ云フ心配ハアリマセヌカ

○政府委員(狹間茂君) 是ハ唯營業稅トカ、
所得稅デケニ付テ見ルヨリモ、稅制全體ニ
付テ見マス、ト云フ、大都市ノ舉ゲ得ル收
入ニ於キマシテハ、殊ニ横濱或ハ京都ト云
フヤウナ所ハ非常ニ增收ニナル譯デ、營業

稅ニ付キマシテハ大都市ダケニ付テチヨッ
ト申上ゲマスト、營業稅附加稅ガ改正前ニ
キマシテハ約五千萬圓デアリマシタガ、
今度ノ改正ニ依リマスト平年度ニ於キマシ
テ大體七千四百萬圓程度ニナル見込デゴザ
イマスノデ、此ノ稅ダケヲ考ヘマシテモ相
違入ルコトニナルト考ヘテ居リマス、マア
其ノ外工場誘致等ニ付キマシテハ、獨リ稅
收入ノミナラズ地方ノ發展ト云フヤウナコ
トモゴザイマスシ、マア色々ナ條件ヲ考ヘ
マスト、工場ガ出來マストバ自然住宅モ殖
エテ家屋稅モ増ストカ、色々ナ問題ガゴザ
イマスカラ、其ノ點ハマア大難把ノ見方ヲ
致シマスレバ從來ト變リナク、憂慮スベキ
コトハナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ
居リマス

○青木周三君 今度ノ稅制ノ改革ニ付テ、
內務省ノ御苦心ノ在ル所ハ從來ノ收入ニ對
シテ大ナル變動ヲ生ジナイヤウニサセルト
云フコトニ付テ餘程骨ヲ折ラレタ跡モ拜見
スルノデスガ、其ノ點ニ付テハ深く感謝ヲ
シテ居ルノデスガ、此ノ問題ハ私ガ質問ス
ル、憂慮スル所以ハ、大都市トカ小都市ト
カ云フコトニ係ラナイデ、總テ農村ト云ハ
ズ市町村ト云ハズ、マア頻リニ工場ヲ歡迎
シテ居ル、又私共ガ今迄長イコト鐵道ノ事
業ニ携ッテ居リマシタガ、大體用地ガ買ヘテ
シマヘバ其ノ事業ハ七分通り成功シタト云
フ風ニ考ヘル位デ、用地ト云フモノガウル
サイノデ、デ今度、今迄ノ狀態ヲ見マスト、
例ヘバ紡績會社ヲ計畫スルト云フト甲乙丙丁
ノ市町村、大キナ團體ト云ハズ小サナ團體
ト云ハズハ多クノ所ハソレヲ引張ラウトシテ
土地、水、其ノ他ノ便宜ヲ盡ク計ツタ、殆ド工
場者ハ其ノ方ニ對シテハ何等ノ心配モ要ラ

ス、詰リ七分通りノ仕事ハソレデ出來ルヤ
ウニナツテ居タ、デ是ハソレノミトハ勿論
云ヘナイコトデスケレドモ、是ガ國家ノ產
業ヲ發達ヲサシタ上ニ非常ナ力ヲ持ッテ居
ルト思フ、今後何カ稅制ノ改正ニ依ッテソレ
ガマア隣村ヘデモ持ッテイラシタ方ガ宜イ
デセウト云フヤウニナツタナラバ、大變國家
ノ產業ガ衰退スルニ至リヤシナイカハハド
ウモ困ツタコトダト云フ結果ガ現ハレルト云
フ時ニナルト、モウ其ノ時ハ既ニ遲イ時ニ
ナルト思フ、實ハ其ノ點ハ一人デ私ハ心配
シテ居タノデアリマス、其ノ點ニ御心配ガ
ナイト云フコトニナレバモウ結構ナノデゴ
ザイマス

○政府委員(三好重夫君) 只今ノ御尋ノ問
題デゴザイマスガ、極メテ大難把ナ數字ニ
ナリマシテ恐縮デゴザイマスガ、現在此ノ
營業收益稅附加稅、所得稅附加稅ノ全國ノ
數字ヲ合計致シテ見マスト約二億七千八百
萬圓程度ニ相成ルノデアリマスガ、此ノ中
ニハ非營業ノ第三種所得稅附加稅ガ入ッテ
居ル譯デゴザイマス、改正後ニ於キマシテ
ハ營業收益稅ニ代リマス營業稅及ビ其ノ附
加稅ニ付キマシテ合計額ガ約二億九千萬圓
ノ見込デゴザイマシテ、改正前ノモノニ比
較致シマス、同ジ伸張力ガアルト考ヘマ
スナラバ、第三種ノ非營業者所得稅附加稅
ヲ引イテ考ヘルコトト致シマスナラバ、改
正後ノ方ガ營業者ニ付テ遙ニ伸張力ガアル、
其ノ稅額ガ上ガツテ來ル、斯ウ云フコトニ相
成ルノデアリマス、勿論全國ノ數字デゴ
ザイマスカラ、之ニ依リマシテ一概ニ斷定
出來ナイト思ヒマスガ、大體ニ於テハ御心
配ニナルヤウナ懸念ハナイノデハナイカ、
又工場誘致ノ關係ニ於キマシテハ御承知ノ

ヤウニ配付稅ガ單位稅額ト標準單位稅額ノ
差額ノ全部ヲ納メタルデハゴザイマセヌデ、
一部分參ルニ過ギナイコトニナリマスルカ
ラ、從ッテ附加稅ニ於テ收入ガゴザイマス方
ガ、其ノ市町村ハ損得ノ關係カラ申シマス
ナラバ得デアルト云フコトニナリマス、又
同時ニ地方團體ノ意思ニ依リマシテ財政收
入ヲ伸縮スルト云フ關係カラ致シマス配
付稅ニハ地方團體ノ意思ヲ加ヘ得ナイモノ
デアリマスカラ、從ッテ附加稅ガ多イ方ガ伸
縮ノ餘地ガアルト云フコトニナリマスノデ、
地方團體側カラ考ヘマスナラバ從前ノ收入
モ大體ニ於テ減ラナイデアラウ、或ハ殖エ
ルカモ知レナイ、又伸張性ノ問題、或ハ伸
縮性ノ問題、雙方カラ考ヘマシテ矢張り工
場誘致ヲヤツタ方ガ產業關係ハ別ト致シマシ
テモ財政的ニノミ眺メマシテモ有利デアル、
斯ウ云フ風ニ相成ルコトト信ズルノデアリ
マス

○青木周三君 此ノ問題ハ實ハ曩モ申シマ
シタ通りニ私屢、心配シテ自分ノ部下ニ聞キ
マシタラ、其ノ心配ニ及バナイト云フコト
ヲ言ウテ居ルノデスケレドモ、尙當局ノサ
ウ云フ風ナ保證ヲ得マシタノデ安心致シマ
シタ、事ノ序デスカラ伺ッテ置キタイノデ
スガ、直接ノ稅法ノ關係ニ少イノデスケレ
ドモ、今ノ工場誘致ノ問題デスガ、近來工
場ガ一ツ所ニ固ッテ居ルコトハ空襲ナドヲ受
ケタ時ノ防禦上非常ニ困ル、工場ヲ分散シ
ヨウト云フ議論ガ可ナリ聞エルノデス、是
ハ國防上ハ正ニ然ルベキカモ知レマセヌガ、
平時ヲ考ヘルト云フト工場ハ集中スル性質
ヲ持ッテ居ル、ソレハ經濟上ノ利益ガアルカ
ラダラウト思フノデアリマス、是等ニ關シ
テ工場ヲ誘致スル政策ヲ各町村ハ執ッテ居ル

ノデスガ、今ノヤウナ工場分散論トデモ申
シマスカ、サウ云フタヤウナコトヲ內務省デ
御考ニナツテ御出デニナルカト云フコトニ付
テ若シ此處デ聽ケルナラバ伺ヒタイ
○政府委員(松岡茂君) 私モハッキリトシ
タコトハ存ジテ居ナイノデゴザイマスガ、
全體ノ國土計畫ト致シマシテ資源ノ關係、
交通其ノ他色々ナ問題ヲ考慮致シマシテ此
ノ地方計畫ヲ立テルト云フ方針ノ下ニ工場
ノミナラズ色々ナ產業ノ配分等ニ付キマシ
テ內務省、企畫院ニ於テ一應計畫ヲ立テル
ヤウニ確力來年度カラ調査費ヲ設ケマシテ
研究ニ著手スルコトニナツテ居ルヤウニ聞イ
テ居リマス、其ノ内容ニ付キマシテハハッキ
リト私ハ存ジマセヌガ大體サウ云フ方針デ
アリマス

○子爵裏松友光君 町村モ段々膨脹シテ參
リマシタシ、又色々ノ事情ノ爲ニ配付稅ト
云フモノガ其ノ金額ナリ、率ガ段々變ッテ行
クダラウト思ヒマスガ、ソレニハ年々變ヘ
ルノデゴザイマセウカ、又此ノ法案ヲ見マ
スト地方分與稅委員會ト云フモノヲ今度置
カレルヤウデアリマスガ、サウ云フヤウナ
場合ニ一々配付稅ノ率ヲ變ヘルヤウナ場合
ニ此ノ委員會ニ掛ケルノデゴザイマセウ
カ、尙此ノ委員會ノ組織權限ハドウ云フ風ニ
ナツテ居リマセウカ、サウ云フヤウナコトヲ
伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(松岡茂君) 此ノ配付稅ハ各團
體ニ配付サレル額ハ、年々計算ヲ致シマシ
テ變ッテ參ルノデアリマスガ、此ノ配付稅ノ
總額ハ法律デ定ッテ居リマシテ、其ノ點ハ變
ラナイ譯デアリマス、併シ將來ドウ云フ事
情ガ起ッテ來ルカモ知レマセヌシ、改正ヲ致
ス必要ガ生ズルカモ知レスト思ヒマス、ソ

レカラ分與稅委員會ニ關シマシテハ、此ノ法律ヲ施行致シマス命令等ニ付キマシテハ、大體此ノ議會ノ延長ト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、此ノ委員會ニ付議致シマシテ決定ヲスル考デアリマス、將來ニ於キマシテ此ノ分與稅法ガ改正ヲ爲スベキ部分ヲ生ジタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、無論此ノ委員會ニ付議致シマシテ決定スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵松友光君 サウ致シマス一々地方ノ町村ガ膨脹シタリ何カシテ、配付ノ率ナリ金額ガ變ルト云フヤウナ、斯ウ云フ時ニ於テ委員會ニ御掛ケニナリナインデゴザイマス

○政府委員(狹間茂君) 各團體ニ對スル配付ノ額ハ、此ノ法律ノ適用ニ依リマシテ自然毎年動イテ、參リマスノデ、是ハ委員會ニ掛ケル問題デハナク法律ノ自然動イテ參リマス、唯茲ニ所得稅、法人稅ノ十六・五五ト云フヤウナモノガ、何カノ事情ニ依ッテ變更シナケレバナラスト云フヤウナコトニ付キマシテハ、無論此ノ委員會ニ付議スルト云フコトニ相成ルト考ヘマス

○子爵松友光君 全體ノ配付稅ノ總額ヲ增サナケレバナラスト云フヤウナ場合ニハ、此ノ委員會ノ議ヲ經ナケレバナラストノデスカ

○政府委員(狹間茂君) ソレハ法律改正ノ問題ニナリマス、此ノ所得稅法人稅等カラ引キ出シマス率ノ改正ノ問題ニナリマスノデ、無論此ノ分與稅委員會ニ於テ御審議ヲ願フト云フコトニナッテ居リマス

○子爵岡部長景君 サッキノ問題デチヨット伺ヒタイノデスガ、先程戴キマシタ此ノ田畑貸付所得配當所得ノ計數デスガ、此ノ計數ノ中ニ何ト言ヒマスカ勘定ニ加ヘラレタ稅目ト云フノハ、例ヘバ此ノ一覽表ニ依リマシテ、此ノ中ノドレダケガ此ノ表ニ入ッテ居ルノデスカ、ソレヲ一ツ……

○政府委員(狹間茂君) 前ニ掲ゲテアリマスヤウニ、改正後ニ於キマシテハ地租、營業稅及其ノ附加稅、府縣市町村ノ分ガ兩方含マレテアリマス、ソレダケデアリマス、表デ申シマス、府縣稅ノ方デ申シマス、地租附加稅、營業稅附加稅、ソレカラ市町村稅ノ方ノ地租附加稅、ソレカラ國稅關係ノ方ニハ無論家屋稅、地租、營業稅ガ入リマス

高額千圓ト云フノハ矢張り從來ノ戶數割ノ倍數等カラ考ヘラレタノデアリマス、ソレヲ標準ニサレタノデスカ、外ニ根據ガオアリニナリマス

○政府委員(狹間茂君) 是ハ別ニ根據ト云フモノガナイノデゴザイマス、大體八圓、六圓、四圓ト云フモノヲ押ヘマシタノハ稅總額ヲ五千萬圓ト云フコトカラ押ヘマシタノデアリマス、ソレカラ千圓ト致シマシタノハ必ズシモ五百圓、千圓ト致ラガ宜イカト云フコトニナリマス、絕對的ノ理由ハゴザイマセヌガ、先ヅ此ノ稅ノ性質ト致シマシテ、餘リ多額デハナラスト云フノデ、原案トシマシテハ千圓ノ程度ニ止メタノデアリマス

○松村義一君 此ノ表ヲ見マス五十倍ヲ超エ百倍以下ト云フノハ三千九十五トナッテ居リマス、百倍ヲ超エ五百倍以下ト云フノハ千五百十三、此ノ表アタリカラ見ルト、矢張り現在ノ戶數割ノ倍數ト云フモノハ、サウ多クナッテ居ラスコトガ普通デアアル、斯ウ云フ工合ニ見エルノデス、此ノ實情カラ鑑ミルト——サウシテ千圓ガ最高限度トスルト、假ニ大都市ノ八圓ト云フモノガ百二十五倍、ソレカラ町村ナラバ二百五十倍、サウナルノデスカ從來ノ實例カラ鑑ミデ、マアチヨット宜イ頃ニアル町村アタリカラ見レバ、寧ロ倍數ガ多過ギハシナイカト、斯ウ云フヤウニ思フノデスガ、其ノ邊ノ御考ハドウデアリマス、戶數割ノ計算カラ云フト、サウ云フヤウナ感ガスル

○政府委員(狹間茂君) 實ハ此ノ千圓ト致シマシタノハ、原案ト致シマシテハ如何ナル所ニ依リマシテモ、兎ニ角此ノ制度トシテハ最高ガ千圓デアアル、サウシテ各團體ニ於キマシテ、其ノ範圍内ニ於テ適當ナ最高額ヲ定メサセル積リデ居ルノデアリマシテ、若シ之ヲ非常ニ低ク致シマス、其ノ結果トシマシテ、非常ニ金持ガアリマシテモ、假ニ五百圓トシマス、五百圓シカ取レナイモノデスカ、サウスルト町村デ申シマス、四圓平均ニ致シマシテ、後百二十五人分ハ他ノ低額ナル所得者ノ方ニ轉嫁サレルト云フコトニナリマス、マア非常ニ大金持デアルト云フヤウナ時ニハ千圓迄ハ其ノ人ニ取ラレテモ宜カラウ、併シ總テ調査ノ上ニ於テ……其ノ上ノ人ニハ全部千圓ト云フコトデハゴザイマセヌデ、各地方ノ事情ニ依ッテ此ノ制限内デ適當ノ額ヲ定メサセタイト、斯ウ考ヘテ居リマシタノデ、場合ニ依リマシテハ千圓ト云フノハ高過ギルト云フ村モアルカト存ジマス、左様ナ村ニ於テハ適當ナ制限ヲ置イテ定メサセタイ、斯ウ云フ風ニ致シマシテ町村ノ小サイモノ等ニ付キマシテハ、相當裕リノアル稅率ニナルカモ知レマセヌ、最高率ニナルカモ知レマセヌガ、全體トシテ見マシテ、千圓ト云フコトニ制限ヲ設ケタノデアリマス

○松村義一君 サウナリマス、ナンデゴザイマス、之ヲ實施ナサル場合ニ於キマシテ、或ハ之ガ原案ノ通りニナリマス、又ハ衆議院ノ修正案通りニナルカハマア分リマセヌガ、其ノ實行ノ場合ニ於テハ相當ナ方針ヲ決メテ通牒デモ出サレル御考デスカ、全ク地デ置クノデスカ

○政府委員(狹間茂君) 最高額ニ付キマシテハ別ニ通牒ヲ出ス考ハ只今ノ所持ッテ居リマセヌガ、市町村民稅ノ此ノ賦課徵集ニ付キマシテハ、相當通牒等デ方針ヲ指示スベキモノガアルノデハナイカト思ヒマス、

例へば課稅標準ノ決定方法等ニ付キマシテハ指示ヲ致シタイト思フ居リマスノデゴザイマス、ドノ村ガ最高限幾ラ、或ハドノ程度ノ資産ニ付テハ何百圓ト云フコトハチヨット指示シニクイノデハナイカト存ジテ居リマス

○松村眞一郎君 是ハ市町村住民稅ノ性質、ソレハ先達テノ大臣ノ御説明ニ依ッデアリマスガ、其ノ性質カラ考ヘテ市町村住民ニ負擔ノ精神ヲヨク養フコト云フコトガアルヤウデアリマスカラ、サウシテ現在ノ戶數割ナルモノハ隨分長所モアリ弊害モアルト云フ譯デ、之ヲ止メテ住民稅ヲ課スルト云フコトデアリマスガ、其ノ性質カラ鑑ミルト、戶數割ヨリハ住民稅ノ方ガ餘リ差ガ大キイト云フコトハ避ケナケレバナラス、性質カラ考ヘルトサウデヤナイカト思フ、戶數割ナラバソレハ大體是ガ主ニ町村ノ財源ニ關係スルノデアリマスカラ必要ガアリマスノデ、隨分倍數モ嵩マッテ來ルト云フコトガ考ヘラレルガ、住民稅ニ付テハサウ云フ倍數ハ餘リ多クナラス方ガ矢張り性質上宜イノデヤナイカ、殊ニ從來ノ戶數割ノ負擔額ノ階級別調ヲ見マシテモ、五十倍ヲ超エ百倍以下デアルト云フノハ三千幾ラシカナイ、ソレ以上ノモノハ一層少イ、サウ云フ譯デアリマスカラ、今回ノ市町村住民稅ニ付テ平均額ニ於テハ二百五十倍ニナル、サウ云フノハ寧ロ行キ過ギテ居ルノデナイカト云フコトニ我々ハ考ヘラレル、而モ今度ノ衆議院ノ修正ニ依リマスレバ全部二百五十倍ニナル譯デアリマスカラ、其ノ行キ過ギハ一層デアル、斯ウ迄思フ、サウ云フ譯デアリマスカラ之ヲ本當ニ我々ハ考慮スル時ニ相當意見ガアルノデスガ、假ニ萬一

是ガ通過サレルトシテモ、其ノ最高額ニ付テハ能ク注意ヲナサル必要ガアリハセヌカ、斯様ニ思フ、御意見ハドウデアリマスカ
○政府委員(挾間茂君) 御尤モデゴザイマシテ、私共モ大體同様ニ考ヘテ居リマス、唯此ノ法ノ建前ト致シマシテハ最高額ヲ千圓ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマスガ、御述ニナリマシタヤウニ町村ノ事情ニ依リマシテ、何レノ町村モ最高二百五十倍ダケヲソコノ金持ニ取ラセルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌノデ、其ノ實行ニ當リマシテハ其ノ爲ニ戶數割ヨリモ過重負擔ニナルヤウナコトハ、絕對ニ避ケナケレバナラスト考ヘテ居リマス、其ノ點注意致シマス

○松村眞一郎君 無論現在ノ戶數割ト云フノハ非常ニ高イノデアリマスカラ、戶數割ヨリハ過重ニナルト云フコトハ私ハ大體アルマイト思ヒマス、アルマイト思ヒマスガ、住民稅ノ性質カラ考ヘテ見テ、マアドコモ皆二百五十倍ヲ取ル、斯ウ云フコトハ適當デナイ、ソレハ現在ノ戶數割ヨリハ一層差額ガヒドイ、此ノ實例カラ見テヒドイカラ、住民稅ノ性質カラ考ヘルト云フト、二百五十倍ト云フコトハ避ケナケレバナラス、斯様ニ思フノデアリマシテ、現在ノ戶數割ヨリ負擔ガ重クナルトハ考ヘマセヌ、サウ云フ意味ノ外ニ、千圓ヲ取ル、或ハ二千圓ヲ取ルト云フコトニ付テ、相當考慮スベキモノデナイカ、斯ウ思フノデアリマス

○政府委員(挾間茂君) 全ク御同感デゴザイマス
○委員長(子爵前田利定君) 皆様ニ御諮リ致シマス、マダ御質疑モ殘ッテ居リマセウケレドモ、明日ニ御延ベヲ願ヒマシテ、今日ハ之デ會ヲ閉ヂタイト思ヒマス、明日ハ

午前十時カラ開會致シマス、今日ハ是デ散會致シマス
午後四時五十八分散會
出席者左ノ如シ

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 男爵紀 俊秀君
委員

公爵一條 實孝君
侯爵中御門經恭君
侯爵池田 宣政君
伯爵黒木 三次君
伯爵橋本 實斐君
子爵岡部 長景君
子爵伊東二郎丸君
子爵裏松 友光君
子爵松平 康春君
宇佐美勝夫君
白根 竹介君
堀切善次郎君
男爵松平外與麿君
男爵中御門經民君
男爵杉溪 由言君
中川 望君
青木 周三君
松村 義一君
堀 啓次郎君
下出 民義君
鈴木 幸作君
塩田 團平君
上野松次郎君
諸橋久太郎君
柴田兵一郎君
委員外議員
山隈 康君

國務大臣 內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
政府委員 內務省地方局長 挾間 茂君
內務書記官 三好 重夫君
大藏書記官 田中 豐君

貴族院地方稅法案特別委員會
議事速記第二號正誤
頁 段 行
二二 三六 內務書記長 內務書記官
正